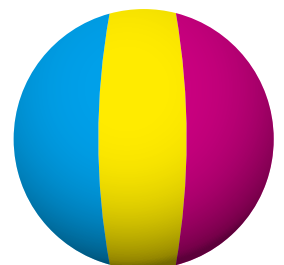


公立大学法人  
岡山県立大学概要2021

---



# 目次

## CONTENTS

基本理念・ポリシー	1
沿革	2
歴代学長	2
組織	3
法人組織図	
運営組織図	
大学組織図	
法人組織における役員等	6
役員	
経営審議会	
教育研究審議会	
大学組織における副学長等	7
組織概要	8
教員組織	
事務組織	
中期目標・中期計画・年度計画	8
教育活動上の目的	9
学部・学科	
保健福祉学部	
情報工学部	
デザイン学部	
大学院研究科・専攻	
保健福祉学研究科	
情報系工学研究科	
デザイン学研究科	
学部状況	12
構成・学生数	
入学状況	
学生の異動状況	
卒業生数累計	
就職内定状況	
研究生・科目等履修生等	
大学院状況	17
構成・学生数	
入学状況	
学生の異動状況	
修士及び博士の学位授与数	
就職内定状況	
研究生・科目等履修生等	
国家資格等取得状況	23
奨学生数	23
附属図書館	24
厚生施設	25
学生会館	
スポーツ施設	
学生相談施設	
共通教育部及び全センター	26
共通教育部	
地域創造戦略センター	
教育開発センター	
アドミッション・高大連携センター	
キャリア・学生生活支援センター	
グローバルラーニングセンター	
学術研究推進センター	
総合情報推進センター	
広報メディア開発センター	
副専攻	27
岡山創生学課程	
吉備の杜クリエイター課程	
吉備の杜プロデューサー課程	
外部研究資金獲得状況	28
科学研究費助成事業	
共同研究・受託研究・教育研究奨励寄附金	
教育の質向上に向けた大学教育改革の取組	29
地域貢献	30
公開講座	
全学講義	
高大連携事業	
行政等との協働	
その他の地域への情報提供	
国際交流	32
定期刊行物	34
シンボルマーク	34
予算・決算状況	35
主な大学施設等	36
建物配置図	37

## ○基本理念・ポリシー

### 基本理念

岡山県立大学は、保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部の3学部からなり、「人間尊重と福祉の増進」を建学の理念として、平成5年に設立されました。教育研究の理念を「人間・社会・自然の関係性を重視する実学を創造し、地域に貢献する」ことに置き、この理念に基づく人材の育成をめざしています。

### 教育目的を達成する3つのポリシー

#### ◆ディプロマ・ポリシー（学位授与の方針）

岡山県立大学では、卒業要件を満たすことにより、次の能力や態度・意欲を身に付けた者に学位を授与します。

##### A. 【豊かな教養】

人間・社会・自然の理解を通じて、人生の各局面において課題を発見し解決できる、高い倫理観と豊かな人間性に立脚した幅広い教養を身に付けている。

##### B. 【高度な実学の専門性と実践力】

専門分野で活躍できる高度な知識、技能と、それを実社会で主体的に活用できる論理的思考力、判断力、実践力を身に付けている。

##### C. 【協調性をもってグローバル化する社会で活躍し、学び続ける態度・意欲】

少子高齢化やグローバル化の進む現代社会において、世界とのつながりを考えて多様な人々と協働することにより、地域社会に貢献できるコミュニケーション能力を身に付けるとともに、継続的に自己を研鑽する態度・意欲を身に付けている。

#### ◆カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成・実施の方針）

##### 【基本方針】

本学は、学位授与の方針に掲げる能力や態度・意欲を有する人材を育成するため、共通教育科目、学部教育科目並びに教職教育科目を設けています。共通教育科目には、グローバル化する国内外の地域で活躍するために必要な能力を身に付けることができる語学国際科目群と社会連携科目群が配置されています。本学は、学位授与の方針に掲げる人材を育成するため、次のような教育課程を編成しています。

##### 【共通教育科目】

共通教育科目では、豊かな教養を育むとともに、協調性をもってグローバル化が進む地域社会で活躍できる能力を育成するため、次の科目群を編成しています。

修学基礎科目群 人文・社会科学科目群 自然科学科目群 健康科学科目群 語学国際科目群 複合PBL科目群 社会連携科目群

##### 【学部教育科目】

学部教育科目では、各学部において課程ごとに定められた方針により、高度な実学の専門性と実践力を育成するための科目を編成しています。

##### 【教職教育科目】

教職教育科目では、教育課程を設置している学科において、教育力を育成するための科目を編成しています。

#### ◆アドミッション・ポリシー（入学者受入の方針）

本学は、本学での学びに適う能力及び素養を、入学者が備えるべきものとして、以下のとおり定めます。

本学は、学生に高等学校において主体的で継続的な学習により幅広い分野での基礎学力を身につけていることを求めるとともに、これらの知識に基づく論理的な思考力や表現力、基礎的な英語力を含めたコミュニケーション能力ならびに人間性や倫理観などの素養を磨いておくことを求めます。

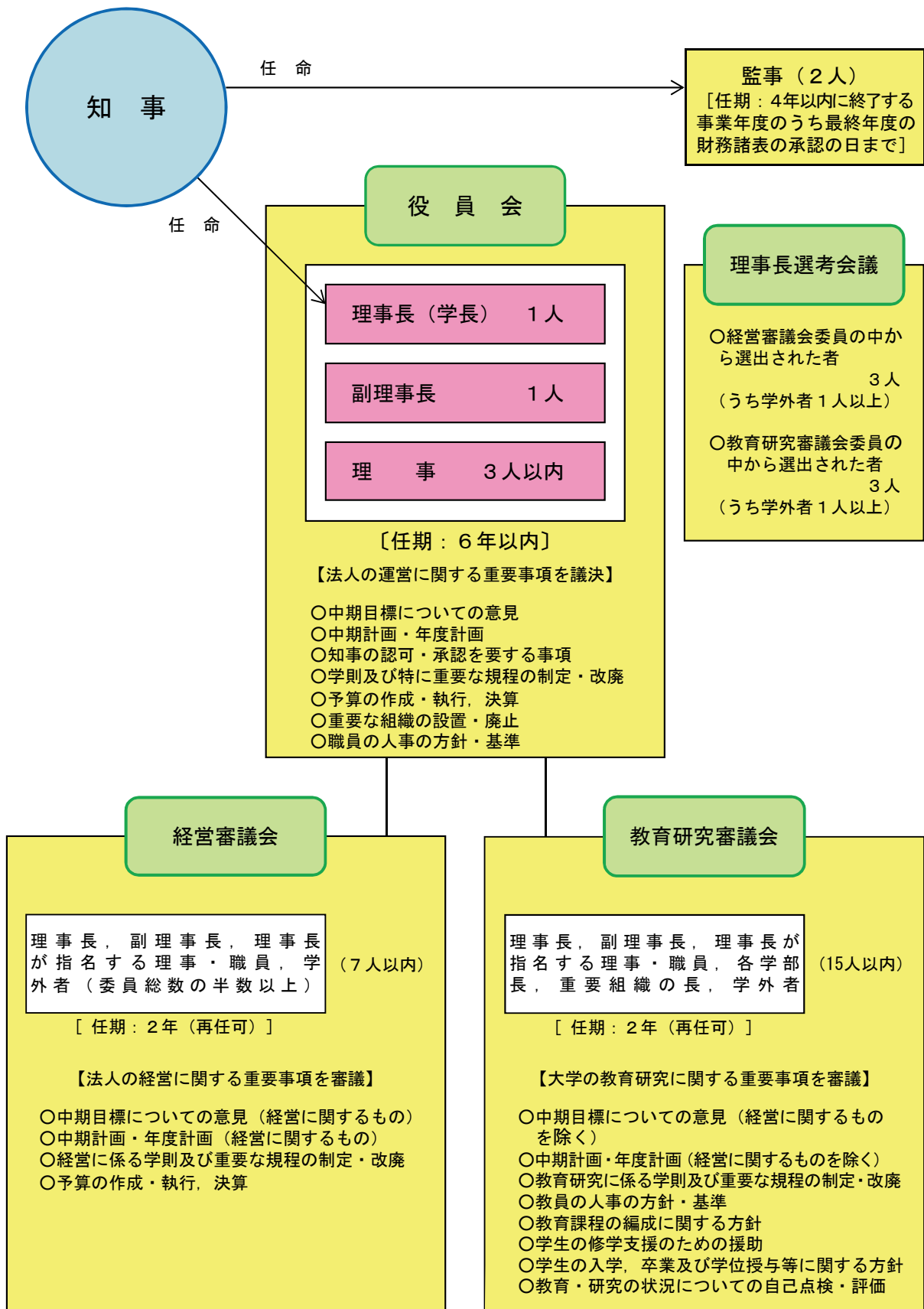
## ○沿革

平成 5(1993)年 4月	開学(保健福祉学部、情報工学部、デザイン学部、短期大学部)
9(1997)年 4月	大学院 保健福祉学研究科(修士課程)、情報系工学研究科(修士課程)設置
10(1998)年 4月	大学院 デザイン学研究科(修士課程)設置
11(1999)年 4月	大学院 情報系工学研究科(博士後期課程)設置
12(2000)年 6月	共同研究機構設置
14(2002)年 4月	保健福祉支援センター 設置 メディアコミュニケーション支援センター 設置
15(2003)年 4月	大学院保健福祉学研究科(博士後期課程)設置
15(2003)年 6月	サテライトキャンパス 設置(平成18年7月廃止)
17(2005)年 8月	全学教育研究機構 設置
17(2005)年10月	地域共同研究機構設置(令和2年3月廃止) 共同研究機構を産学官連携推進センターに名称変更(令和2年3月廃止) 保健福祉支援センターを保健福祉推進センターに名称変更(平成29年3月廃止) メディアコミュニケーション支援センターをメディアコミュニケーション推進センターに名称変更(平成24年3月廃止)
18(2006)年 4月	情報工学部 スポーツシステム工学科 設置 デザイン学部 学科再編(デザイン工学科・造形デザイン学科 設置)
19(2007)年 3月	短期大学部閉学
19(2007)年 4月	公立大学法人岡山県立大学 設立 保健福祉学部 保健福祉学科 改組
20(2008)年 4月	健康・スポーツ推進センター 設置(平成27年3月廃止)
22(2010)年 4月	大学院 情報系工学研究科人間情報システム工学専攻(博士前期課程)設置 大学院 デザイン学研究科(修士課程)再編(デザイン工学専攻、造形デザイン学専攻 設置)
23(2011)年 4月	認定看護師教育センター 設置(平成28年3月廃止)
24(2012)年 4月	福祉・健康まちづくり推進センター 設置(平成27年3月廃止)
25(2013)年 4月	保健福祉学部 保健福祉学科再編(社会福祉学専攻、子ども学専攻設置) 大学院 保健福祉学研究科(博士前期課程)看護学専攻再編(保健師国家試験受験資格取得) 大学院 情報系工学研究科(博士前期課程)再編(システム工学専攻設置)
26(2014)年10月	大学教育開発センター 設置 国際交流センター 設置
27(2015)年 4月	情報工学部 スポーツシステム工学科を人間情報工学科に名称変更 全学教育研究機構を共通教育部に名称変更 教育研究開発機構 設置(平成31年3月廃止) 総合情報機構 設置(平成31年3月廃止) 情報基盤活用推進センター 設置 広報メディア開発センター 設置 地域連携推進センター 設置(令和2年3月廃止)
27(2015)年10月	学術研究推進センター 設置
28(2016)年 4月	副専攻「岡山創生学」設置 ※令和3年4月に副専攻「岡山創生学課程」に名称変更 COC+ 推進室 設置(令和2年3月廃止)
28(2016)年12月	学生支援室(SAS)開設
31(2019)年 4月	キャリア・学生生活支援センター 設置 大学教育開発センターを教育開発センターに名称変更 情報基盤活用推進センターを総合情報推進センターに名称変更
令和 2(2020)年 4月	地域創造戦略センター 設置 アドミッション・高大連携センター 設置 国際交流センターをグローバルラーニングセンターに名称変更
令和 3(2021)年 4月	保健福祉学部 学科再編(現代福祉学科・子ども学科設置) デザイン学部 学科再編(ビジュアルデザイン学科・工芸工業デザイン学科・建築学科設置) 副専攻「吉備の杜クリエイター課程」設置 副専攻「吉備の杜プロデューサー課程」設置 地域創造戦略センター吉備の杜推進室設置

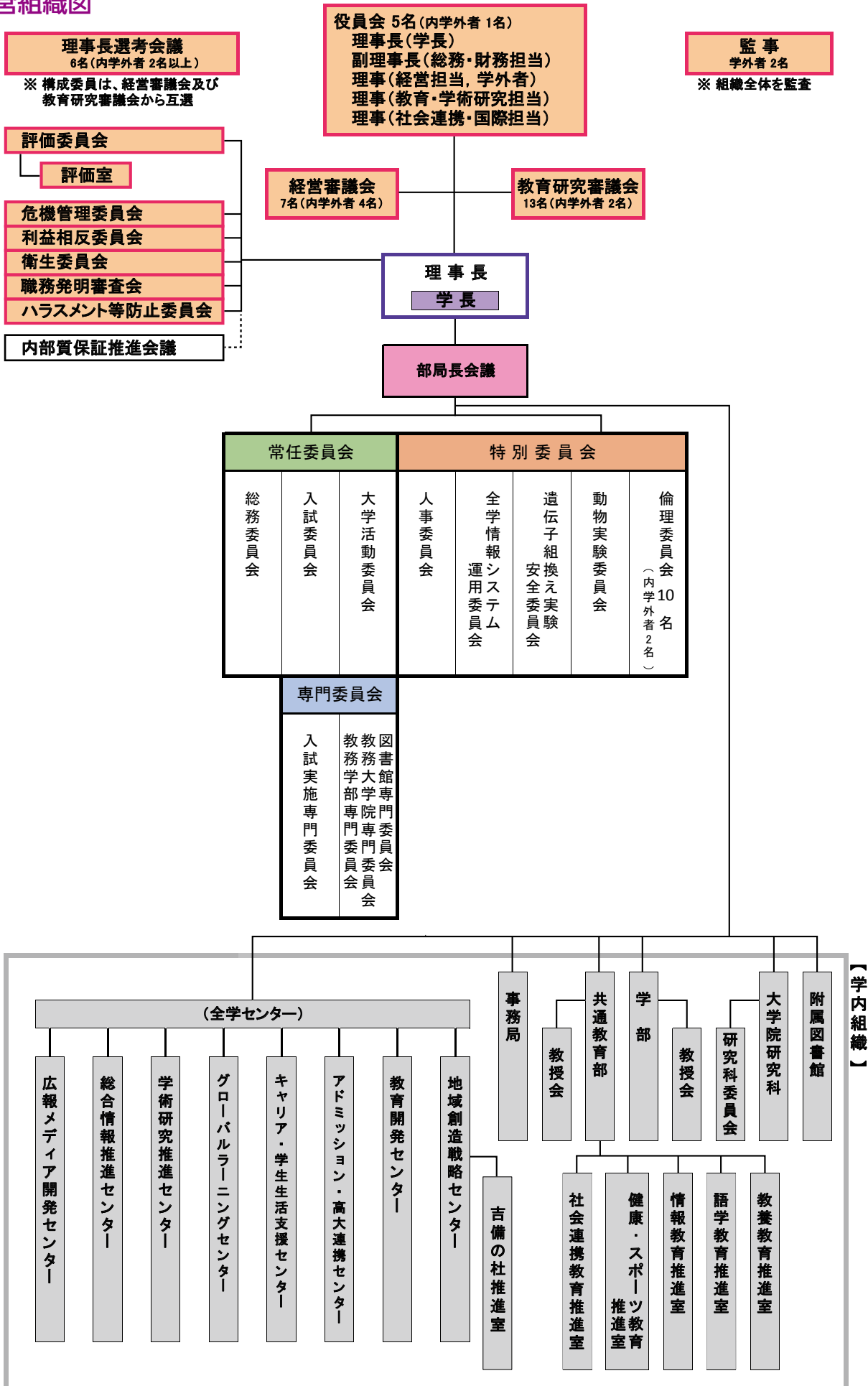
## ○歴代学長

初代	小坂 淳夫	平成 5年 4月 1日	～	平成 8年 3月 31日
第2代	高橋 克明	平成 8年 4月 1日	～	平成 12年 3月 31日
第3代	本田 和男	平成 12年 4月 1日	～	平成 16年 3月 31日
第4代	三宮 信夫	平成 16年 4月 1日	～	平成 19年 3月 31日
		平成 19年 4月 1日	～	平成 23年 3月 31日
		平成 23年 4月 1日	～	平成 25年 3月 31日
第5代	辻 英明	平成 25年 4月 1日	～	平成 29年 3月 31日
		平成 29年 4月 1日	～	平成 31年 3月 31日
第6代	沖 陽子	平成 31年 4月 1日	～	令和 5年 3月 31日

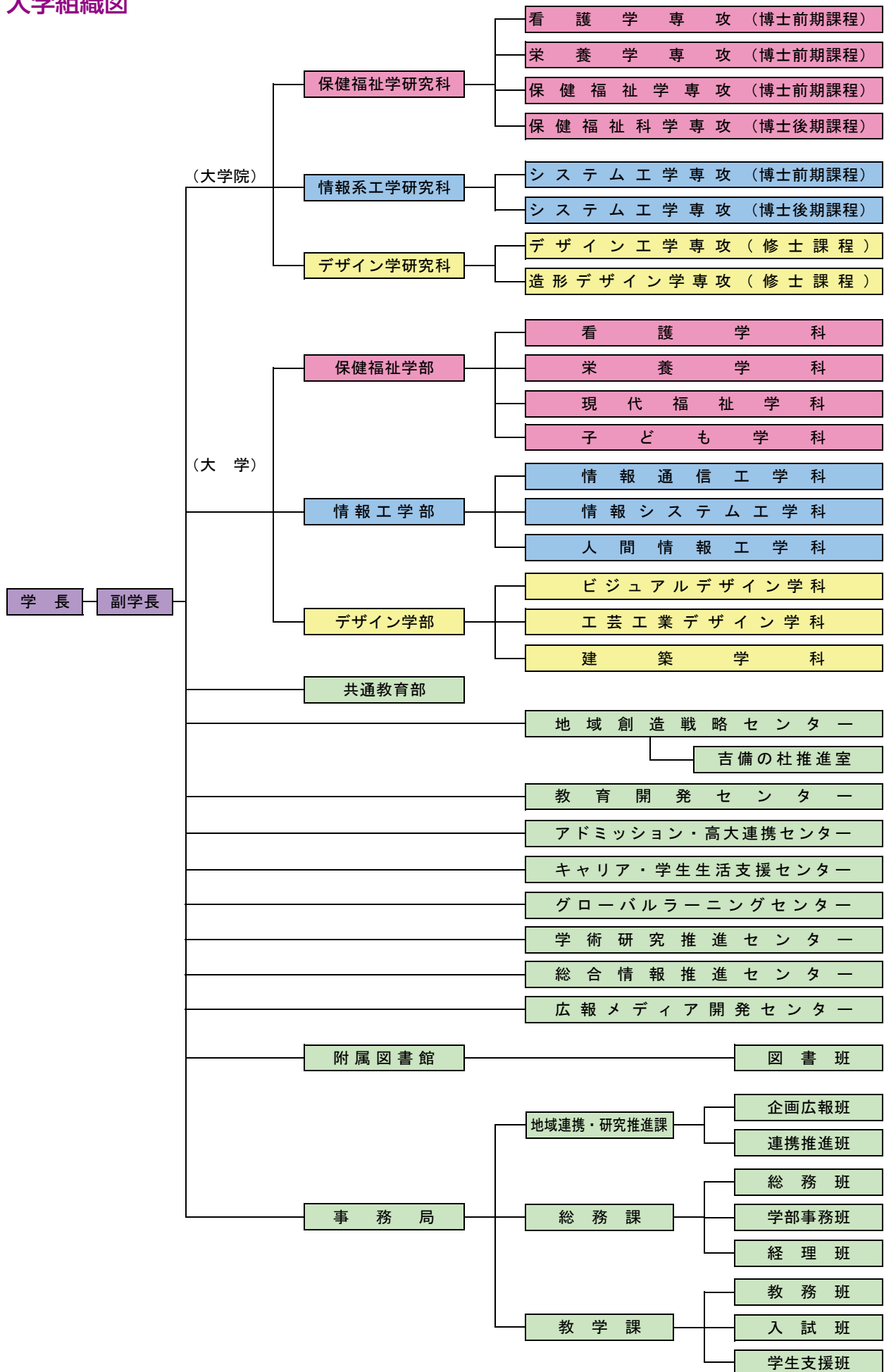
法人組織図



# 運営組織図



# 大学組織図



## ○法人組織における役員等

(令和3年5月1日現在)

### 役員

理事長	沖 陽子	岡山県立大学学長
副理事長	善勝 剛志	岡山県立大学事務局長
理事	松田 正己	(株)山陽新聞社代表取締役社長
理事	高橋 吉孝	岡山県立大学副学長(教育・学術研究担当)
理事	末岡 浩治	岡山県立大学副学長(社会連携・国際担当)
監事	井上 信二	公認会計士
監事	大土 弘	弁護士

### 経営審議会

議長	沖 陽子	公立大学法人岡山県立大学理事長
委員	善勝 剛志	公立大学法人岡山県立大学副理事長
委員	末岡 浩治	公立大学法人岡山県立大学理事(社会連携・国際担当)
委員	晝田 眞三	ヒルタ工業(株)代表取締役会長
委員	中島 義雄	(株)システムズカサマ代表取締役社長
委員	梶谷 俊介	岡山トヨタ自動車(株)代表取締役社長
委員	則武 直美	岡山聖園子供の家施設長

### 教育研究審議会

議長	沖 陽子	公立大学法人岡山県立大学理事長
委員	善勝 剛志	公立大学法人岡山県立大学副理事長
委員	高橋 吉孝	公立大学法人岡山県立大学理事(教育・学術研究担当)
委員	末岡 浩治	公立大学法人岡山県立大学理事(社会連携・国際担当)
委員	伊東 秀之	岡山県立大学副学長(入試・広報担当)
委員	近藤 理恵	岡山県立大学保健福祉学部長
委員	尾崎 公一	岡山県立大学情報工学部長
委員	嘉数 彰彦	岡山県立大学デザイン学部長
委員	田中 晃一	岡山県立大学共通教育部長
委員	山下 広美	岡山県立大学附属図書館長
委員	難波 久美子	岡山県立大学デザイン学部教授
委員	大崎 紘一	岡山商科大学特別顧問
委員	平野 博之	岡山理科大学副学長



## ○大学組織における副学長等

(令和3年5月1日現在)

副学長(教育・学術研究担当)	高橋 吉孝	(保健福祉学部 教授)
副学長(社会連携・国際担当)	末岡 浩治	(情報工学部 教授)
副学長(入試・広報担当)	伊東 秀之	(保健福祉学部 教授)
学長補佐	佐藤 洋一郎	(情報工学部 教授)
保健福祉学部長	近藤 理恵	
看護学科長	住吉 和子	
栄養学科長	田中 晃一	
現代福祉学科長	高戸 仁郎	
子ども学科長	山本 孝司	
情報工学部長	尾崎 公一	
情報通信工学科長	稲井 寛	
情報システム工学科長	忻 欣	
人間情報工学科長	春木 直人	
デザイン学部長	嘉数 彰彦	
ビジュアルデザイン学科長	北山 由紀雄	
工芸工業デザイン学科長	村木 克爾	
建築学科長	津田 勢太	
保健福祉学研究科長	近藤 理恵	
看護学専攻長	森本 美智子	
栄養学専攻長	山本 登志子	
保健福祉学専攻長	高戸 仁郎	
保健福祉科学専攻長	近藤 理恵	
情報系工学研究科長	尾崎 公一	
システム工学専攻長(博士前期)	穂苅 真樹	
システム工学専攻長(博士後期)	尾崎 公一	
デザイン学研究科長	嘉数 彰彦	
デザイン工学専攻長	村木 克爾	
造形デザイン学専攻長	北山 由紀雄	
附属図書館長	山下 広美	(保健福祉学部 教授)
共通教育部長	田中 晃一	(保健福祉学部 教授)
地域創造戦略センター長	佐藤 洋一郎	(情報工学部 教授)
教育開発センター長	榊原 勝己	(情報工学部 教授)
アドミッション・高大連携センター長	伊東 秀之	(保健福祉学部 教授)
キャリア・学生生活支援センター長	齋藤 誠二	(情報工学部 教授)
グローバルラーニングセンター長	伊藤 照明	(情報工学部 教授)
学術研究推進センター長	有本 和民	(情報工学部 教授)
総合情報推進センター長	山内 仁	(情報工学部 教授)
広報メディア開発センター長	中西 俊介	(デザイン学部准教授)
事務局長	善勝 剛志	
事務局次長(総務課長)	小西 邦彦	
地域連携・研究推進課長	長家 輝	
教 学 課 長	鈴木 真吾	

## ○組織概要

### 教員組織

※副学長（兼務）を含む

（令和3年5月1日現在）

	教授	准教授	講師	助教	助手	特任教授	計
<b>■大 学</b>							
<b>保健福祉学部</b>	<b>25</b>	<b>25</b>	<b>2</b>	<b>13</b>			<b>65</b>
看護学科	7	7		6			20
栄養学科	8	4	1	5			18
現代福祉学科	7	8		2			17
子ども学科	3	6	1				10
<b>情報工学部</b>	<b>20</b>	<b>20</b>		<b>10</b>		<b>1</b>	<b>51</b>
情報通信工学科	8	7		4			19
情報システム工学科	5	9		3		1	18
人間情報工学科	7	4		3			14
<b>デザイン学部</b>	<b>14</b>	<b>16</b>	<b>1</b>	<b>5</b>		<b>1</b>	<b>37</b>
ビジュアルデザイン学科	5	6					11
工芸工業デザイン学科	5	6	1	3		1	16
建築学科	4	4		2			10
<b>合 計</b>	<b>59</b>	<b>61</b>	<b>3</b>	<b>28</b>		<b>2</b>	<b>153</b>

### ■大学院

<b>保健福祉学研究科</b>	※保健福祉学部教員が兼務
看護学専攻	
栄養学専攻	
保健福祉学専攻	
保健福祉科学専攻	
<b>情報系工学研究科</b>	※情報工学部教員が兼務
システム工学専攻（博士前期）	
システム工学専攻（博士後期）	
<b>デザイン学研究科</b>	※デザイン学部教員が兼務
デザイン工学専攻	
造形デザイン学専攻	

### 非常勤特任講師

	非常勤特任講師	計
共通教育部	1	1
<b>合 計</b>	<b>1</b>	<b>1</b>

### 事務組織

（令和3年5月1日現在）

	学長	副学長	事務局長	地域連携・ 研究推進課	総務課	教学課	附属図書館	計
<b>■教 員</b>	1	3						4
<b>■事務職員</b>			1	12	23	20	3	59
<b>合 計</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>12</b>	<b>23</b>	<b>20</b>	<b>3</b>	<b>63</b>

※副学長3名は兼務

## ○中期目標・中期計画・年度計画

地方独立行政法人法の規定に基づき、平成31年4月から令和7年3月までの6年間において、公立大学法人岡山県立大学が達成すべき業務運営に関する目標（第3期中期目標）及び当該中期目標を達成するための計画（第3期中期計画）を定めています。

また、この中期計画に基づき、当該年度の業務運営に関する計画を年度計画として定めています。

※全文は、ホームページ（<https://www.oka-pu.ac.jp>）をご覧ください。

## ○教育活動上の目的

### 学部・学科

#### 保健福祉学部

保健福祉学部は、地域や国際社会における人々の健康維持と増進に積極的に貢献できる看護、栄養、福祉、教育に関する幅広い知識と技術を修得し、専門分野に関する課題を科学的、論理的思考や分析に基づいて主体的に解決する能力を備え、高い倫理観と豊かな人間性にあふれ、さらに多様な人々と協働して社会の変化やグローバル化に柔軟に対応できる力とコミュニケーション能力を有する人材の育成を目指しています。

##### ・看護学科

看護学科は、健康で豊かなその人らしい人生の実現を支援するための専門知識・技術と倫理観及び豊かなコミュニケーション能力を育み、地域におけるあらゆる健康レベルの人々の生涯を通じた健康を支援し、岡山県から広く地域社会及び国際社会に貢献できる人材を育成を目指しています。

##### ・栄養学科

栄養学科は、人間、健康、社会に関する幅広い知識と論理的な思考力をもって、食と健康の相互関係を科学的に理解し、多様な人々と協働して栄養学の専門分野を人の健康の維持・増進、病気の予防・治療へと応用するとともに、食と人とのかかわりにおける未知なる事象の解明に向けて主体的に研究する姿勢を身に付け、岡山県から広く地域社会及び国際社会に貢献できる人材を育成する。

##### ・現代福祉学科

現代福祉学科は、少子高齢社会やグローバル社会といった複雑化する現代社会において生じている多様な社会的、個人的ニーズを科学的に解明し、すべての人々の健康と幸福の増進のために、介護福祉学を含む社会福祉学関連の学問を基盤に、グローバルセンスをもって岡山県から広く地域社会及び国際社会に能動的、創造的に貢献できる人材を育成する。

##### ・子ども学科

子ども学科は子どもの育ちと支援にかかわる理論を理解し、子どもの学びと育ちを支えることができる実践力と生涯学び探究し続ける姿勢を身につけるとともに、子ども学を子どもの育成環境整備や保健・医療・福祉・教育分野との連携・協働へと応用し、岡山県から広く地域社会及び国際社会に貢献できる人材を育成する。

#### 情報工学部

情報工学とは、情報の伝送・認識・処理・利用にかかわるハードウェアとソフトウェアの技術を研究開発するための学問です。情報工学部は、豊かな教養と人間性をもって情報技術を活用して、人間及び自然との調和を図りながら高度情報化社会の持続的発展に貢献できる技術者の育成を目指しています。

##### ・情報通信工学科

情報通信工学科は、日々進歩し続ける情報通信技術（ICT）を支えている情報工学、通信工学、電子工学の3つの学問領域を共通の基盤として、各種情報システムの知能化等に必要となるソフトウェア技術及びシステムの超高速化等に欠かせないハードウェア技術を有し、ICTの利用者視点を理解するとともに、豊かな教養と人間性に基づくグローバルな視点から主体性・協調性をもって社会に貢献できる情報通信技術者の育成を目指しています。

##### ・情報システム工学科

情報システム工学科は、コンピュータの発展に貢献できる情報工学、力学に基礎を置くものづくりのための機械工学、人間と機械やコンピュータを結びつけるインタフェース工学などの学問を修得し、領域横断型のエンジニアとしてのセンスをもって、グローバル社会において豊かな教養と人間性に基づき、新たな工学的価値の創出に積極的に参加できる技術者の育成を目指しています。

##### ・人間情報工学科

人間情報工学科は、人間の生活環境を支える情報工学と、人間の能力や特性をモデル化する生体機能学、情報技術をものづくりに活かした機器設計学の3つの学問領域に関する深い知識及び技術の活用と、豊かな教養と人間性に基づき、グローバルな視点から多種多量な情報が組み込まれた人間との高い親和性をもつ新たなソフトウェア・ハードウェアの設計・開発ができる技術者を育成します。

## デザイン学部

デザイン学部では、人間・社会・自然の調和を目指したデザイン・建築を創造できる人材教育を目指します。

学部の基礎的な共通教育に加えて、実学教育を中核とした各分野の専門教育により、地域・国際社会の持続的発展に貢献できる人材を少人数教育によって育成します。

### ・ビジュアルデザイン学科

ビジュアルデザイン学科は、様々なメディアを横断する視覚伝達の知識・技能を基盤に、各分野の専門性を修得することにより、地域・国際社会の持続的発展のために、その能力を発揮できるグラフィックデザイナー・映像クリエイター等、広告業界や出版業界で活躍できるスペシャリストを育成します。

### ・工芸工業デザイン学科

工芸工業デザイン学科は、立体的な造形教育の知識・技能を基盤に、工芸的で緻密なデザイン制作と工業的で合理的なデザイン開発に関わる幅広い知識と技能を学び、産業界や地域社会で活躍でき、また社会の持続的発展に貢献できるスペシャリストを育成します。

### ・建築学科

建築学科は、建築設計を中心にインテリアから地域計画に至るまで、建築に関わる広範な知識と高度な技能を修得し、建築設計分野で国際・地域社会の持続的発展に寄与する、建築家や建築分野の専門家を育成する。

## 大学院研究科・専攻

### 保健福祉学研究科

保健福祉学研究科は、保健・医療・福祉分野の専門職としての深い知識と卓越した能力を身に付け、各分野の課題を提起し、それを解決し得る研究能力を持つとともに、広く健康社会の発展に貢献できる研究者あるいは高度専門職業人を育成します。

#### ・看護学専攻（博士前期課程）

看護学専攻は、学際的で高い看護の専門的知識と基礎的な研究能力を活かして、保健医療福祉分野における課題を解決し、国内外の看護における実践・教育・研究の場で社会のニーズに応え、貢献できる人材の育成を目指しています。

#### ・栄養学専攻（博士前期課程）

栄養学専攻は、食品の機能や臨床栄養などの人の健康に関連した栄養学的な諸問題を解決できる優れた専門性を備えるとともに、豊かな創造力と問題解決能力を身に付け、社会のニーズに応えることができる人材の育成を目指しています。

#### ・保健福祉学専攻（博士前期課程）

保健福祉学専攻は、保健福祉学の理論と技術を修得する組織的な教育研究を行い、保健福祉に関連した臨床や政策の諸問題を解決できる優れた専門性を備えた人材の育成を目指しています。

#### ・保健福祉科学専攻（博士後期課程）

保健福祉科学専攻は、人間が抱える諸問題に関して、生命や栄養、看護、福祉など各方面からアプローチし、深い倫理観と総合的な判断力をもって、問題の解決策を提案できる高度な見識を備えた各専門職領域の実践者、指導者、研究者及び教育者の育成を目指しています。

## 情報系工学研究科

情報系工学研究科は、情報技術を活用して、人間及び自然との調和を図りながら未来創造社会の持続的発展に、広い視野に立って貢献できる技術者及び研究者の育成を目指しています。

- ・ システム工学専攻（博士前期課程）

システム工学専攻（博士前期課程）は、デジタル革新による未来創造社会の発展を支えるため、電子情報通信工学、機械情報システム工学、人間情報システム工学等の分野で、地域産業の振興をリードできる高度な専門技術者の育成を目指しています。

- ・ システム工学専攻（博士後期課程）

システム工学専攻（博士後期課程）は、デジタル革新による未来創造社会の多様な要請に応えるべく、専門分野において、理論や技術を深く修得し、新たな問題を発見し解決することによって、既存の枠組みにとらわれない総合的・先端的知識や技術を切り開くことができる技術者、研究者の育成を目指しています。

## デザイン学研究科

デザイン学研究科は、グローバルな視野と感性を持ち、社会を的確にとらえ時代の変化を洞察することで、将来予想される問題を優れたデザインの創出により解決し、豊かで新しい便利な生活と文化に寄与できる人材の育成を目指しています。

- ・ デザイン工学専攻（修士課程）

デザイン工学専攻は、地域社会と産業界の要請に応えられる、高度な専門的知識・技能・技術をベースにした総合的な思考力を有し、多様な価値創造が可能な高度専門職業人及び研究者の育成を目指しています。

- ・ 造形デザイン学専攻（修士課程）

造形デザイン学専攻は、デザインの専門知識と技能、技術を活用して論理的思考に基づき、新たな造形デザイン構築において諸問題を総合的な視点から解決し、社会に貢献することのできる高度専門職業人及び研究者の育成を目指しています。

## ○学部状況

### 構成・学生数

入学  
定員

在 学 者 数

令和3年5月1日現在

	入学 定員	一年次			二年次			三年次			四年次			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
■保健福祉学部	140	8	137	145	13	130	143	6	143	149	9	141	150	36	551	587
看護学科	40		41	41	1	40	41	1	40	41	3	42	45	5	163	168
栄養学科	40	2	38	40	3	38	41	3	37	40	1	42	43	9	155	164
保健福祉学科					9	52	61	2	66	68	5	57	62	16	175	191
現代福祉学科	35	6	32	38										6	32	38
子ども学科	25		26	26											26	26
■情報工学部	140	124	19	143	115	23	138	136	18	154	157	20	177	532	80	612
情報通信工学科	50	43	7	50	41	8	49	43	5	48	62	4	66	189	24	213
情報システム工学科	50	49	4	53	45	5	50	58	6	64	52	7	59	204	22	226
人間情報工学科	40	32	8	40	29	10	39	35	7	42	43	9	52	139	34	173
■デザイン学部	90	25	68	93	14	79	93	33	64	97	26	76	102	98	287	385
デザイン工学科					10	33	43	25	20	45	21	29	50	56	82	138
造形デザイン学科					4	46	50	8	44	52	5	47	52	17	137	154
ビジュアルデザイン学科	30	4	26	30										4	26	30
工芸工業デザイン学科	30	7	25	32										7	25	32
建築学科	30	14	17	31										14	17	31
合 計	370	157	224	381	142	232	374	175	225	400	192	237	429	666	918	1,584

### 入学状況 【大 学 計】

令和3年5月1日現在

	募集 人員	志願者(うち県内)		受験者	合格者(うち県内)		入学者(うち県内)		男女		※実質 倍率
		志願者	(うち県内)		合格者	(うち県内)	入学者	(うち県内)	男	女	
■令和元年度	370	2,771	(837)	1,746	580	(204)	409	(183)	180	229	3.0
●保健福祉学部	140	549	(309)	405	158	(91)	151	(88)	6	145	2.6
●情報工学部	140	2,020	(460)	1,149	322	(79)	158	(61)	140	18	3.6
●デザイン学部	90	202	(68)	192	100	(34)	100	(34)	34	66	1.9
■令和2年度	370	2,697	(755)	1,412	533	(213)	377	(191)	145	232	2.6
●保健福祉学部	140	449	(277)	340	161	(97)	143	(89)	13	130	2.1
●情報工学部	140	2,028	(392)	861	274	(77)	141	(64)	118	23	3.1
●デザイン学部	90	220	(86)	211	98	(39)	93	(38)	14	79	2.2
■令和3年度	370	2,797	(1,038)	1,895	540	(245)	381	(216)	157	224	3.5
●保健福祉学部	140	641	(394)	501	157	(100)	145	(95)	8	137	3.2
●情報工学部	140	1,846	(502)	1,091	287	(100)	143	(76)	124	19	3.8
●デザイン学部	90	310	(142)	303	96	(45)	93	(45)	25	68	3.2

※実質倍率＝受験者数／合格者数

【保健福祉学部】

	募集 人員	志願者(うち県内)		受験者	合格者(うち県内)		入学者(うち県内)		男	女	※実質 倍率
■令和元年度	140	552	(309)	407	159	(91)	151	(88)	6	145	2.6
○看護学科	40	186	(118)	133	43	(29)	42	(28)	1	41	3.1
○栄養学科	40	103	(48)	99	46	(18)	40	(16)	3	37	2.2
○保健福祉学科 社会福祉学専攻	40	183	(81)	116	48	(25)	47	(25)	2	45	2.4
○保健福祉学科 子ども学専攻	20	80	(62)	59	22	(19)	22	(19)	0	22	2.7
■令和2年度	140	449	(277)	340	161	(97)	143	(89)	13	130	2.1
○看護学科	40	138	(101)	92	41	(33)	41	(33)	1	40	2.2
○栄養学科	40	111	(55)	106	50	(21)	41	(20)	3	38	2.1
○保健福祉学科 社会福祉学専攻	40	107	(60)	76	45	(26)	41	(23)	9	32	1.7
○保健福祉学科 子ども学専攻	20	93	(61)	66	25	(17)	20	(13)	0	20	2.6
■令和3年度	140	641	(394)	501	157	(100)	145	(95)	8	137	3.2
○看護学科	40	200	(140)	140	42	(36)	41	(35)		41	3.3
○栄養学科	40	128	(61)	126	47	(26)	40	(23)	2	38	2.7
○現代福祉学科	35	191	(123)	151	41	(22)	38	(21)	6	32	3.7
○子ども学科	25	122	(70)	84	27	(16)	26	(16)		26	3.1

【情報工学部】

	募集 人員	志願者(うち県内)		受験者	合格者(うち県内)		入学者(うち県内)		男	女	※実質 倍率
■令和元年度	140	2,024	(460)	1,152	323	(79)	158	(61)	140	18	3.6
○情報通信工学科	50	674	(154)	380	109	(23)	50	(20)	45	5	3.5
○情報システム工学科	50	914	(207)	504	140	(36)	64	(25)	58	6	3.6
○人間情報工学科	40	436	(99)	268	74	(20)	44	(16)	37	7	3.6
■令和2年度	140	2,028	(392)	861	274	(77)	141	(64)	118	23	3.1
○情報通信工学科	50	618	(108)	261	97	(23)	50	(18)	42	8	2.7
○情報システム工学科	50	1,033	(189)	418	115	(32)	51	(26)	46	5	3.6
○人間情報工学科	40	377	(95)	182	62	(22)	40	(20)	30	10	2.9
■令和3年度	140	1,846	(502)	1,091	287	(100)	143	(76)	124	19	3.8
○情報通信工学科	50	759	(194)	484	99	(29)	50	(25)	43	7	4.9
○情報システム工学科	50	810	(218)	447	122	(40)	53	(30)	49	4	3.7
○人間情報工学科	40	277	(90)	160	66	(31)	40	(21)	32	8	2.4

【デザイン学部】

	募集 人員	志願者(うち県内)		受験者	合格者(うち県内)		入学者(うち県内)		男	女	※実質 倍率
■令和元年度	90	204	(68)	194	101	(34)	100	(34)	34	66	1.9
○デザイン工学科	40	96	(20)	88	46	(14)	45	(14)	25	20	1.9
○造形デザイン学科	50	108	(48)	106	55	(20)	55	(20)	9	46	1.9
■令和2年度	90	220	(86)	211	98	(39)	93	(38)	14	79	2.2
○デザイン工学科	40	94	(23)	89	44	(14)	43	(14)	10	33	2.0
○造形デザイン学科	50	126	(63)	122	54	(25)	50	(24)	4	46	2.3
■令和3年度	90	310	(142)	303	96	(45)	93	(45)	25	68	3.2
○ビジュアルデザイン学科	30	111	(60)	110	31	(15)	30	(15)	4	26	3.5
○工芸工業デザイン学科	30	111	(40)	108	33	(12)	32	(12)	7	25	3.3
○建築学科	30	88	(42)	85	32	(18)	31	(18)	14	17	2.7

※実質倍率＝受験者数／合格者数

## 学生の異動状況

	編入	転学	休学	復学	退学	除籍
■平成30年度	0	0	34	18	18	0
●保健福祉学部	0	0	8	3	2	0
○看護学科	0	0	3	1	0	0
○栄養学科	0	0	3	0	1	0
○保健福祉学科	0	0	2	2	1	0
●情報工学部	0	0	11	9	7	0
○情報通信工学科	0	0	3	1	2	0
○情報システム工学科	0	0	6	3	3	0
○人間情報工学科	0	0	2	5	2	0
●デザイン学部	0	0	15	6	9	0
○デザイン工学科	0	2	4	3	4	0
○造形デザイン学科	0	△ 2	11	3	5	0
■令和元年度	1	0	30	19	27	2
●保健福祉学部	1	0	5	4	4	0
○看護学科	0	0	1	1	1	0
○栄養学科	1	0	2	3	1	0
○保健福祉学科	0	0	2	0	2	0
●情報工学部	0	0	14	9	12	1
○情報通信工学科	0	0	4	3	5	0
○情報システム工学科	0	0	6	4	3	1
○人間情報工学科	0	0	4	2	4	0
●デザイン学部	0	0	11	6	11	1
○デザイン工学科	0	0	3	1	1	1
○造形デザイン学科	0	0	8	5	10	0
■令和2年度	1	0	25	12	16	2
●保健福祉学部	1	0	3	4	0	0
○看護学科	0	0	0	1	0	0
○栄養学科	1	0	1	1	0	0
○保健福祉学科	0	0	2	2	0	0
●情報工学部	0	0	16	4	10	1
○情報通信工学科	0	0	7	1	3	0
○情報システム工学科	0	0	6	1	3	0
○人間情報工学科	0	0	3	2	4	1
●デザイン学部	0	0	6	4	6	1
○デザイン工学科	0	0	3	1	1	0
○造形デザイン学科	0	0	3	3	5	1

※上記は延べ件数（1学生を複数項目でカウントしている場合がある。）

※転学欄は、学内の転学科及び転学部の件数

## 卒業生数累計

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度末 累計
●保健福祉学部	144	139	153	3,346
○看護学科	40	43	43	1,043
○栄養学科	43	35	49	1,042
○保健福祉学科	61	61	61	1,261
●情報工学部	142	160	162	3,126
○情報通信工学科	57	53	65	1,330
○情報システム工学科	46	54	60	1,310
○スポーツシステム工学科	7	2	0	366
○人間情報工学科※ 1	32	51	37	120
●デザイン学部	83	85	84	2,058
○デザイン工学科	42	38	38	478
○造形デザイン学科	41	47	46	564
○ビジュアルデザイン学科※ 2	-	-	-	498
○工芸工業デザイン学科※ 2	-	-	-	518
合 計	369	384	399	8,530

※ 1 平成 27 年 4 月名称変更：スポーツシステム工学科⇒人間情報工学科

※ 2 平成 18 年 4 月デザイン学部再編



(各年度3月31日現在)

## 就職内定状況

	卒業生			うち就職希望者			就職者			うち県内			うち県外			就職率 (%)	進学・その他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計
平成30年度（第23期生）計	143	226	369	92	206	298	91	204	295	45	109	154	46	95	141	99.0	51	20	71
●保健福祉学部	9	135	144	6	126	132	6	126	132	2	79	81	4	47	51	100	3	9	12
看護学科	2	38	40	0	33	33	0	33	33	0	24	24	0	9	9	100	2	5	7
栄養学科	2	41	43	2	38	40	2	38	40	0	22	22	2	16	18	100	0	3	3
保健福祉学科 社会福祉学専攻	4	37	41	4	36	40	4	36	40	2	21	23	2	15	17	100	0	1	1
保健福祉学科 子ども学専攻	1	19	20	0	19	19	0	19	19	0	12	12	0	7	7	100	1	0	1
●情報工学部	118	24	142	72	22	94	71	22	93	39	7	46	32	15	47	98.9	46	2	48
情報通信工学科	45	12	57	28	11	39	27	11	38	16	3	19	11	8	19	97.4	17	1	18
情報システム工学科	41	5	46	22	4	26	22	4	26	13	3	16	9	1	10	100	19	1	20
スポーツシステム工学科	6	1	7	5	1	6	5	1	6	2	0	2	3	1	4	100	1	0	1
●デザイン学部	16	67	83	14	58	72	14	56	70	4	23	27	10	33	43	97.2	2	9	11
デザイン工学科	10	32	42	9	28	37	9	28	37	2	10	12	7	18	25	100	1	4	5
造形デザイン学科	6	35	41	5	30	35	5	28	33	2	13	15	3	15	18	94.3	1	5	6
令和元年度（第24期生）計	180	204	384	122	184	306	119	180	299	44	93	137	75	87	162	97.7	58	20	78
●保健福祉学部	14	125	139	8	114	122	8	114	122	7	65	72	1	49	50	100	6	11	17
看護学科	2	41	43	0	34	34	0	34	34	0	16	16	0	18	18	100	2	7	9
栄養学科	3	32	35	1	32	33	1	32	33	1	14	15	0	18	18	100	2	0	2
保健福祉学科 社会福祉学専攻	6	34	40	5	32	37	5	32	37	4	22	26	1	10	11	100	1	2	3
保健福祉学科 子ども学専攻	3	18	21	2	16	18	2	16	18	2	13	15	0	3	3	100	1	2	3
●情報工学部	141	19	160	92	17	109	90	17	107	31	7	38	59	10	69	98.2	49	2	51
情報通信工学科	46	7	53	28	6	34	28	6	34	7	3	10	21	3	24	100	18	1	19
情報システム工学科	50	4	54	33	3	36	31	3	34	11	0	11	20	3	23	94.4	17	1	18
スポーツシステム工学科	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1	100	0	0	0
人間情報工学科	43	8	51	29	8	37	29	8	37	12	4	16	17	4	21	100	14	0	14
●デザイン学部	25	60	85	22	53	75	21	49	70	6	21	27	15	28	43	93.3	3	7	10
デザイン工学科	18	20	38	16	17	33	16	16	32	4	3	7	12	13	25	97.0	2	3	5
造形デザイン学科	7	40	47	6	36	42	5	33	38	2	18	20	3	15	18	90.5	1	4	5
令和2年度（第25期生）計	177	222	399	108	183	291	103	176	279	44	86	130	59	90	149	95.9	69	39	108
●保健福祉学部	11	142	153	9	124	133	9	124	133	5	74	79	4	50	54	100	2	18	20
看護学科	2	41	43	2	37	39	2	37	39	2	19	21	0	18	18	100	0	4	4
栄養学科	3	46	49	2	35	37	2	35	37	0	18	18	2	17	19	100	1	11	12
保健福祉学科 社会福祉学専攻	6	35	41	5	33	38	5	33	38	3	23	26	2	10	12	100	1	2	3
保健福祉学科 子ども学専攻	0	20	20	0	19	19	0	19	19	0	14	14	0	5	5	100	0	1	1
●情報工学部	138	24	162	77	21	98	74	21	95	35	6	41	39	15	54	96.9	61	3	64
情報通信工学科	55	10	65	33	9	42	33	9	42	14	3	17	19	6	25	100	22	1	23
情報システム工学科	54	6	60	32	5	37	29	5	34	14	2	16	15	3	18	91.9	22	1	23
人間情報工学科	29	8	37	12	7	19	12	7	19	7	1	8	5	6	11	100	17	1	18
●デザイン学部	28	56	84	22	38	60	20	31	51	4	6	10	16	25	41	85.0	6	18	24
デザイン工学科	22	16	38	17	14	31	15	11	26	4	0	4	11	11	22	83.9	5	2	7
造形デザイン学科	6	40	46	5	24	29	5	20	25	0	6	6	5	14	19	86.2	1	16	17

## 研究生・科目等履修生等

	研究生	委託生	外国人受託 研修員	科目等 履修生	特別聴 講学生	単 位 互 換 履 修 生	合計
■平成30年度	1	0	0	2	0	0	3
●保健福祉学部	0	0	0	1	0	0	1
○看護学科	0	0	0	0	0	0	0
○栄養学科	0	0	0	0	0	0	0
○保健福祉学科	0	0	0	1	0	0	1
●情報工学部	1	0	0	0	0	0	1
○情報通信工学科	1	0	0	0	0	0	1
○情報システム工学科	0	0	0	0	0	0	0
○人間情報工学科	0	0	0	0	0	0	0
●デザイン学部	0	0	0	1	0	0	1
○デザイン工学科	0	0	0	0	0	0	0
○造形デザイン学科	0	0	0	1	0	0	1
■令和元年度	1	1	0	1	0	0	3
●保健福祉学部	1	1	0	1	0	0	3
○看護学科	0	1	0	0	0	0	1
○栄養学科	0	0	0	1	0	0	1
○保健福祉学科	1	0	0	0	0	0	1
●情報工学部	0	0	0	0	0	0	0
○情報通信工学科	0	0	0	0	0	0	0
○情報システム工学科	0	0	0	0	0	0	0
○人間情報工学科	0	0	0	0	0	0	0
●デザイン学部	0	0	0	0	0	0	0
○デザイン工学科	0	0	0	0	0	0	0
○造形デザイン学科	0	0	0	0	0	0	0
■令和2年度	1	0	0	0	0	0	1
●保健福祉学部	0	0	0	0	0	0	0
○看護学科	0	0	0	0	0	0	0
○栄養学科	0	0	0	0	0	0	0
○保健福祉学科	0	0	0	0	0	0	0
●情報工学部	0	0	0	0	0	0	0
○情報通信工学科	0	0	0	0	0	0	0
○情報システム工学科	0	0	0	0	0	0	0
○人間情報工学科	0	0	0	0	0	0	0
●デザイン学部	1	0	0	0	0	0	1
○デザイン工学科	1	0	0	0	0	0	1
○造形デザイン学科	0	0	0	0	0	0	0

# ○大学院状況

## 構成・学生数

令和3年5月1日現在

【博士前期・修士課程】	入学 定員	在 学 者 数								
		1年次			2年次			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計
■保健福祉学研究科（博士前期課程）	20	7	15	22	9	19	28	16	34	50
看護学専攻	7	2	5	7	2	10	12	4	15	19
栄養学専攻	6	1	9	10	2	5	7	3	14	17
保健福祉学専攻	7	4	1	5	5	4	9	9	5	14
■情報系工学研究科（博士前期課程）	52	51	2	53	44	1	45	95	3	98
システム工学専攻	52	51	2	53	44	1	45	95	3	98
■デザイン学研究科（修士課程）	16	6	3	9	1	3	4	7	6	13
デザイン工学専攻	7	5	1	6	1	0	1	6	1	7
造形デザイン学専攻	9	1	2	3	0	3	3	1	5	6
合 計	88	64	20	84	54	23	77	118	43	161

令和3年5月1日現在

【博士後期課程】	入学 定員	在 学 者 数											
		1年次			2年次			3年次			合 計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
■保健福祉学研究科（博士後期課程）													
保健福祉科学専攻	5	3	5	8	5	2	7	4	16	20	12	23	35
■情報系工学研究科（博士後期課程）													
システム工学専攻	6	2	1	3	1	0	1	6	1	7	9	2	11
合 計	11	5	6	11	6	2	8	10	17	27	21	25	46

## 入学状況【博士前期・修士課程】

	募集 人員	志願者(うち学内)	受験者	合格者(うち学内)	入学者(うち学内)	男	女	※実質 倍率
■令和元年度	88	91 (64)	90	80 (62)	69 (55)	46	23	1.1
●保健福祉学研究所	20	31 (10)	31	23 (10)	17 (8)	3	14	1.3
○看護学専攻	7	18 (3)	18	10 (3)	6 (3)	0	6	1.8
○栄養学専攻	6	6 (4)	6	6 (4)	5 (3)	0	5	1.0
○保健福祉学専攻	7	7 (3)	7	7 (3)	6 (2)	3	3	1.0
●情報系工学研究所	52	52 (49)	51	50 (47)	45 (42)	43	2	1.0
○システム工学専攻	52	52 (49)	51	50 (47)	45 (42)	43	2	1.0
●デザイン学研究所	16	8 (5)	8	7 (5)	7 (5)	0	7	1.1
○デザイン工学専攻	7	4 (2)	4	3 (2)	3 (2)	0	3	1.3
○造形デザイン学専攻	9	4 (3)	4	4 (3)	4 (3)	0	4	1.0
■令和2年度	88	84 (67)	83	78 (62)	70 (55)	51	19	1.1
●保健福祉学研究所	20	27 (12)	27	26 (12)	23 (10)	7	16	1.0
○看護学専攻	7	14 (7)	14	13 (7)	11 (6)	2	9	1.1
○栄養学専攻	6	6 (2)	6	6 (2)	6 (2)	2	4	1.0
○保健福祉学専攻	7	7 (3)	7	7 (3)	6 (2)	3	3	1.0
●情報系工学研究所	52	52 (52)	52	48 (48)	43 (43)	42	1	1.1
○システム工学専攻	52	52 (52)	52	48 (48)	43 (43)	42	1	1.1
●デザイン学研究所	16	5 (3)	4	4 (2)	4 (2)	2	2	1.0
○デザイン工学専攻	7	3 (2)	2	2 (1)	2 (1)	2	0	1.0
○造形デザイン学専攻	9	2 (1)	2	2 (1)	2 (1)	0	2	1.0
■令和3年度	88	107 (86)	106	97 (80)	84 (71)	64	20	1.1
●保健福祉学研究所	20	30 (15)	30	26 (14)	22 (13)	7	15	1.2
○看護学専攻	7	14 (4)	14	10 (3)	7 (3)	2	5	1.4
○栄養学専攻	6	10 (9)	10	10 (9)	10 (9)	1	9	1.0
○保健福祉学専攻	7	6 (2)	6	6 (2)	5 (1)	4	1	1.0
●情報系工学研究所	52	66 (64)	65	61 (59)	53 (51)	51	2	1.1
○システム工学専攻	52	66 (64)	65	61 (59)	53 (51)	51	2	1.1
●デザイン学研究所	16	11 (7)	11	10 (7)	9 (7)	6	3	1.1
○デザイン工学専攻	7	8 (5)	8	7 (5)	6 (5)	5	1	1.1
○造形デザイン学専攻	9	3 (2)	3	3 (2)	3 (2)	1	2	1.0

【博士後期課程】	募集 人員	志願者(うち学内)	受験者	合格者(うち学内)	入学者(うち学内)	男	女	※実質 倍率
■令和元年度	11	12 (1)	12	12 (1)	12 (1)	5	7	1.0
●保健福祉学研究所	5	7 (1)	7	7 (1)	7 (1)	1	6	1.0
○保健福祉科学専攻	5	7 (1)	7	7 (1)	7 (1)	1	6	1.0
●情報系工学研究所	6	5 (0)	5	5 (0)	5 (0)	4	1	1.0
○システム工学専攻	6	5 (0)	5	5 (0)	5 (0)	4	1	1.0
■令和2年度	11	8 (3)	8	7 (3)	7 (3)	5	2	1.1
●保健福祉学研究所	5	8 (3)	8	7 (3)	7 (3)	5	2	1.1
○保健福祉科学専攻	5	8 (3)	8	7 (3)	7 (3)	5	2	1.1
●情報系工学研究所	6	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0	0	
○システム工学専攻	6	0 (0)	0	0 (0)	0 (0)	0	0	
■令和3年度	11	13 (3)	13	11 (3)	11 (3)	5	6	1.2
●保健福祉学研究所	5	10 (3)	10	8 (3)	8 (3)	3	5	1.3
○保健福祉科学専攻	5	10 (3)	10	8 (3)	8 (3)	3	5	1.3
●情報系工学研究所	6	3 (0)	3	3 (0)	3 (0)	2	1	1.0
○システム工学専攻	6	3 (0)	3	3 (0)	3 (0)	2	1	1.0

※実質倍率＝受験者数／合格者数

## 学生の異動状況

	休学	復学	退学	除籍
<b>【博士前期・修士課程】</b>				
■平成30年度	6	0	4	0
●保健福祉学研究科	1	0	2	0
○看護学専攻	1	0	1	0
○栄養学専攻	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	0	0	1	0
●情報系工学研究科	4	0	2	0
○システム工学専攻	4	0	2	0
●デザイン学研究科	1	0	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	1	0	0	0
■令和元年度	6	3	1	0
●保健福祉学研究科	4	0	0	0
○看護学専攻	1	0	0	0
○栄養学専攻	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	3	0	0	0
●情報系工学研究科	1	2	1	0
○システム工学専攻	1	2	1	0
●デザイン学研究科	1	1	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	1	1	0	0
■令和2年度	6	4	5	1
●保健福祉学研究科	3	3	1	0
○看護学専攻	1	2	0	0
○栄養学専攻	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	2	1	1	0
●情報系工学研究科	2	1	2	0
○システム工学専攻	2	1	2	0
●デザイン学研究科	1	0	2	1
○デザイン工学専攻	0	0	0	1
○造形デザイン学専攻	1	0	2	0

	休学	復学	退学	除籍
<b>【博士後期課程】</b>				
■平成30年度	6	1	1	0
●保健福祉学研究科	2	1	1	0
○保健福祉科学専攻				
●情報系工学研究科	4	0	0	0
○システム工学専攻				
■令和元年度	8	4	4	0
●保健福祉学研究科	5	2	1	0
○保健福祉科学専攻				
●情報系工学研究科	3	2	3	0
○システム工学専攻				
■令和2年度	4	4	2	0
●保健福祉学研究科	4	3	2	0
○保健福祉科学専攻				
●情報系工学研究科	0	1	0	0
○システム工学専攻				

## 修士及び博士の学位授与数

### 【博士前期・修士課程】

	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和2年度末 累計
●保健福祉学研究科	19	17	21	432
○看護学専攻	9	10	8	153
○栄養学専攻	3	4	7	133
○保健福祉学専攻	7	3	6	146
●情報系工学研究科	44	40	44	1,082
○電子情報通信工学専攻※1	-	-	-	348
○機械情報システム工学専攻※1	-	-	-	379
○人間情報システム工学専攻※1	-	-	-	25
○システム工学専攻	44	40	44	330
●デザイン学研究科	4	4	4	225
○ビジュアルデザイン学専攻※2	-	-	-	66
○工芸工業デザイン学専攻※2	-	-	-	83
○デザイン工学専攻	2	2	3	28
○造形デザイン学専攻	2	2	1	48
合 計	67	61	69	1,739

※1 平成25年4月情報系工学研究科再編

※2 平成22年4月デザイン学研究科再編

### 【博士後期課程】

	平成30年度 (うち論文博士)	令和元年度 (うち論文博士)	令和2年度 (うち論文博士)	令和2年度末 累計 (うち論文博士)
●保健福祉学研究科				
○保健福祉科学専攻	1 (0)	4 (0)	3 (0)	80 (5)
●情報系工学研究科				
○システム工学専攻	1 (0)	2 (0)	2 (0)	68 (2)
合 計	2 (0)	6 (0)	5 (0)	148 (7)

※( )は内数で、岡山県立大学学位規程第3条第4項に定める学位(論文博士)数

# 就職内定状況

(各年度3月31日現在)

【博士前期・修士課程】	修了者			うち就職希望者			就職者			うち県内			うち県外			就職率 (%)	進学・その他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計
■平成30年度 計	49	16	65	47	10	57	45	9	54	13	4	17	32	5	37	94.7	2	6	8
●保健福祉学研究科	6	13	19	5	7	12	4	7	11	2	4	6	2	3	5	91.7	1	6	7
看護学専攻	2	7	9	2	4	6	2	4	6	2	3	5	0	1	1	100	0	3	3
栄養学専攻	2	1	3	2	1	3	1	1	2	0	0	0	1	1	2	66.7	0	0	0
保健福祉学専攻	2	5	7	1	2	3	1	2	3	0	1	1	1	1	2	100	1	3	4
●情報系工学研究科	41	1	42	40	1	41	39	1	40	10	0	10	29	1	30	97.6	1	0	1
システム工学専攻	41	1	42	40	1	41	39	1	40	10	0	10	29	1	30	97.6	1	0	1
●デザイン学研究科	2	2	4	2	2	4	2	1	3	1	0	1	1	1	2	75.0	0	0	0
デザイン工学専攻	2	0	2	2	0	2	2	0	2	1	0	1	1	0	1	100	0	0	0
造形デザイン学専攻	0	2	2	0	2	2	0	1	1	0	0	0	0	1	1	50.0	0	0	0
■令和元年度 計	48	13	61	42	11	53	41	11	52	4	4	8	37	7	44	98.1	6	2	8
●保健福祉学研究科	6	11	17	1	9	10	1	9	10	1	4	5	0	5	5	100	5	2	7
看護学専攻	1	9	10	0	7	7	0	7	7	0	4	4	0	3	3	100	1	2	3
栄養学専攻	2	2	4	1	2	3	1	2	3	1	0	1	0	2	2	100	1	0	1
保健福祉学専攻	3	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	3	0	3
●情報系工学研究科	39	1	40	39	1	40	38	1	39	3	0	3	35	1	36	97.5	0	0	0
システム工学専攻	39	1	40	39	1	40	38	1	39	3	0	3	35	1	36	97.5	0	0	0
●デザイン学研究科	3	1	4	2	1	3	2	1	3	0	0	0	2	1	3	100	1	0	1
デザイン工学専攻	2	0	2	2	0	2	2	0	2	0	0	0	2	0	2	100	0	0	0
造形デザイン学専攻	1	1	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	0	1	1	100	1	0	1
■令和2年度 計	46	23	69	42	14	56	41	13	54	9	7	16	32	6	38	96.4	4	9	13
●保健福祉学研究科	4	17	21	2	9	11	2	9	11	0	4	4	2	5	7	100	2	8	10
看護学専攻	0	8	8	0	4	4	0	4	4	0	3	3	0	1	1	100	0	4	4
栄養学専攻	0	7	7	0	4	4	0	4	4	0	1	1	0	3	3	100	0	3	3
保健福祉学専攻	4	2	6	2	1	3	2	1	3	0	0	0	2	1	3	100	2	1	3
●情報系工学研究科	42	2	44	40	2	42	39	2	41	9	1	10	30	1	31	97.6	2	0	2
システム工学専攻	42	2	44	40	2	42	39	2	41	9	1	10	30	1	31	97.6	2	0	2
●デザイン学研究科	0	4	4	0	3	3	0	2	2	0	2	2	0	0	0	66.7	0	1	1
デザイン工学専攻	0	3	3	0	2	2	0	1	1	0	1	1	0	0	0	50.0	0	1	1
造形デザイン学専攻	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	0	100	0	0	0
【博士後期課程】	修了者			うち就職希望者			就職者			うち県内			うち県外			就職率 (%)	進学・その他		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		男	女	計
■平成30年度 計	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	1	2
●保健福祉学研究科																			
保健福祉科学専攻	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	1
●情報系工学研究科																			
システム工学専攻	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	1	1
■令和元年度 計	1	4	5	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	100	0	4	4
●保健福祉学研究科																			
保健福祉科学専攻	1	2	3	1	0	1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	100	0	2	2
●情報系工学研究科																			
システム工学専攻	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	2	2
■令和2年度 計	2	3	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	3	4
●保健福祉学研究科																			
保健福祉科学専攻	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	0	3	3
●情報系工学研究科																			
システム工学専攻	2	0	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-	1	0	1

研究生・  
科目等履修生等

【博士前期・修士課程】

	研究生	委託生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
■平成30年度	1	0	0	0	1
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○看護学専攻	0	0	0	0	0
○栄養学専攻	0	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	1	0	0	0	1
○システム工学専攻	1	0	0	0	1
●デザイン学研究科	0	0	0	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	0	0	0	0	0
■令和元年度	1	0	0	0	1
●保健福祉学研究科	1	0	0	0	1
○看護学専攻	0	0	0	0	0
○栄養学専攻	1	0	0	0	1
○保健福祉学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0
●デザイン学研究科	0	0	0	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	0	0	0	0	0
■令和2年度	1	0	0	0	1
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○看護学専攻	0	0	0	0	0
○栄養学専攻	0	0	0	0	0
○保健福祉学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	1	0	0	0	1
○システム工学専攻	1	0	0	0	1
●デザイン学研究科	0	0	0	0	0
○デザイン工学専攻	0	0	0	0	0
○造形デザイン学専攻	0	0	0	0	0

【博士後期課程】

	研究生	委託生	科目等履修生	特別聴講学生	合計
■平成30年度	0	0	0	0	0
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○保健福祉科学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0
■令和元年度	0	0	0	0	0
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○保健福祉科学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0
■令和2年度	0	0	0	0	0
●保健福祉学研究科	0	0	0	0	0
○保健福祉科学専攻	0	0	0	0	0
●情報系工学研究科	0	0	0	0	0
○システム工学専攻	0	0	0	0	0



## ○国家資格等取得状況

### 【大 学】

		看護師	助産師	管理栄養士	社会福祉士	介護福祉士	保育士
平成30年度	合格者	39	3	42	38	14	(取得者)
	／受験者	40	3	43	41	14	20名
	合格率 (%)	97.5	100	97.7	92.7	100	
令和元年度	合格者	42	4	33	33	17	(取得者)
	／受験者	43	4	35	40	17	21名
	合格率 (%)	97.7	100	94.3	82.5	100	
令和2年度	合格者	43	4	47	27	7	(取得者)
	／受験者	43	4	48	40	7	20名
	合格率 (%)	100	100	97.9	67.5	100	

### 【大学院（博士前期）】

		保健師
平成30年度	合格者	4
	／受験者	4
	合格率 (%)	100
令和元年度	合格者	7
	／受験者	7
	合格率 (%)	100
令和2年度	合格者	4
	／受験者	4
	合格率 (%)	100

※平成25年度から大学院（保健福祉学研究科看護学専攻）に保健師課程は移行しています。

## ○奨学生数

学生の教育機会を保障するための奨学金には、独立行政法人日本学生支援機構、民間団体によるもの、学生の出身地によるもの（各都道府県、市町村など地方公共団体が行うもの）、病気遺児・交通遺児を対象としたもの（交通遺児育英資金、あしなが育英会など）などがあります。

このうち、独立行政法人日本学生支援機構から貸与・給付を受けている奨学生の状況は次のとおりです。

### 【大 学】

令和3年3月31日現在

	保健福祉学部	情報工学部	デザイン学部	合 計
第一種(無利子)	170	147	101	418
第二種(有利子)	85	102	48	235
給付	64	64	56	184
<b>合 計</b>	<b>319</b>	<b>313</b>	<b>205</b>	<b>837</b>

### 【大学院（博士前期・修士課程）】

令和3年3月31日現在

	保健福祉学 研究科	情報系工学 研究科	デザイン学 研究科	合 計
第一種(無利子)	9	44	2	55
第二種(有利子)	0	4	0	4
<b>合 計</b>	<b>9</b>	<b>48</b>	<b>2</b>	<b>59</b>

### 【大学院（博士後期課程）】

令和3年3月31日現在

	保健福祉学 研究科	情報系工学 研究科	合 計
第一種(無利子)	2	0	2
第二種(有利子)	0	0	0
<b>合 計</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>2</b>

## ○附属図書館

附属図書館は、1・2階合わせて2,608㎡の総フロアを有します。閲覧室の座席数は、研究閲覧室(4室)、グループ閲覧室(1室、12名用)を含めて201席あります。また、AV(視聴覚)コーナーを設置し、AV教材による学習ができるシステム(4台)を備えています。

その他に蔵書検索端末5台、インターネット検索等ができる端末29台、国立国会図書館デジタル資料の検索・閲覧ができる端末1台、マイクロリーダー1台を設置しています。

所蔵資料は、図書・製本雑誌等が約21万冊、視聴覚資料(DVD・ビデオ)が約5,000本、雑誌が約2,000種で、すべてコンピュータ管理されています。令和2年度から電子ブックを導入し、オンライン授業でも活用できる資料を増やしています。

エントランスホールには、可動式のテーブルと椅子、ホワイトボード及び電子黒板を設置し、グループワーク等が出来るスペースを設けています。

当館は、岡山県立図書館の利用者カードを発行することができます。また、貸出図書の受取・返却館として利用することができます。

### 【蔵書数】

令和3年3月31日現在

分類	和書	洋書	計
総記	13,599 冊	3,009 冊	16,608 冊
哲学	8,219	1,251	9,470
歴史	6,508	566	7,074
社会科学	37,460	5,264	42,724
自然科学	46,106	13,480	59,586
工学・工業	18,443	5,346	23,789
産業	2,894	444	3,338
芸術・スポーツ	20,169	4,555	24,724
語学	4,486	4,477	8,963
文学	11,623	1,079	12,702
計	169,507	39,471	208,978

製本雑誌	15,976 冊
和雑誌	2,006 種
洋雑誌	311 種
視聴覚資料	5,277 本
電子ブック	737 冊
電子ジャーナル	2324 種

### 【附属図書館】



## ○厚生施設

### 学生会館

学生及び教職員の福利厚生の増進並びにコミュニケーション促進の場として利用されています。



施設	面積	備考
学生会館	2,991.79㎡	鉄筋コンクリート造3階建
1階 食堂	1,000.84㎡	452席
2階 喫茶	261.89㎡	116席
コンビニ	245.62㎡	
ラウンジ・ホール	118.94㎡	
3階 多目的室	178.70㎡	
茶室	34.09㎡	
学生支援室(SAS)	81.53㎡	
トイレ、廊下ほか	1,070.18㎡	

### スポーツ施設

施設	構造・面積	備考
陸上競技場	20,600㎡	400mトラック
グラウンド	17,918㎡	2面
野球場	18,302㎡	1面
テニスコート	6,638㎡	ハードコート6面、砂入人工芝コート3面
体育館	RC造2階建 3,033㎡	アリーナ、トレーニング室、格技場、ロッカールーム
プール	(建物部分)RC造 237㎡	50m×8コース(SUS 1,861.50m³)
部室棟	RC造2階建 767㎡	部室26室

### 学生相談施設

#### 学生相談室

心や健康の悩み、学業や将来のこと、友人や恋愛のことなど学生生活全般における悩みについて、カウンセラーが相談に応じています。

<令和2年度利用状況>

	学生	教職員	保護者等	合計
延べ利用者数	170	—	1	171

#### 保健室

学生の健康管理のため、健康診断、健康相談、学生相談、応急処置、証明書の発行などを行っています。

<令和2年度利用状況>

	疾患			検査	相談	証明書発行	入学試験 救護等	合計
	内科	外科	その他					
延べ利用者数	11	9	5	24	129	305	2	485

## ○共通教育部及び全学センター

### 共通教育部

全学的な視点から、共通教育科目に関する教育活動を円滑かつ有効に実施するため、平成27年4月に設置されました。共通教育に関する計画・編成・実施・評価等の業務を行っています。教養、語学、情報、健康・スポーツの各教育推進室を設置しています。教員は本学の学部専任教員が兼務しています。

### 地域創造戦略センター

知の拠点としての全学的な社会貢献活動を一元的に担当する組織として、令和2年4月に設置されました。産学官連携、地域連携、社会連携教育、学生が主体となるボランティア活動支援など、真の意味での全学的かつ組織的な社会連携活動を推進しています。

産学官連携部門では、本学が保有する学術研究情報・技術等の知的資源を活用した技術相談や地域企業との共同・受託研究、県内の経済団体等との連携・協働活動、地域連携部門では、自治体や地域団体等との協働による地域課題の解決及び地域の人材育成、社会連携教育推進部門では、共通教育科目の社会連携のカテゴリーに配置される授業科目のカリキュラム案の作成と実施、ボランティア部門では、安全なボランティア活動を通じ学生主体の地域貢献活動の企画・実施を支援することによる学生のキャリア形成に取り組んでいます。吉備の杜推進室では、学部3年次生～大学院生を対象とした副専攻「吉備の杜」創造戦略プロジェクトを推進しています。

### 教育開発センター

共通教育、FD（教育改善の活動）、授業・成績等評価等について、教育の改善に向けた全学的な取組を行う組織で、平成26年10月に設置されました。

大学の学生教育を活性化するとともに、教育の質の向上と多様性を追求し、地域の発展に寄与する高い資質を有する卒業生（修了生）を社会に送り出すことを念頭に置いて活動しています。

### アドミッション・高大連携センター

本学のアドミッション・ポリシーに適合した入学者を受け入れるために、令和2年4月に設置されました。本学における教育研究、学習環境、入試情報等について積極的に広報し、高大連携の推進や入試改革の調査、研究及び立案を実施し、本学の教育・研究の発展に寄与することを目的として活動しています。

### キャリア・学生生活支援センター

キャリア形成や学生生活の充実に向けた相談・支援を総合的に行う目的で平成31年4月に設置されました。

学生のキャリア形成を支援する〔キャリア形成支援部門〕、就職を支援する〔就職支援部門〕、障がいのある学生を含めて大学生活を支援する〔学生生活支援部門〕の3部門があり、それぞれが連携して学生を支援します。

また、心身の健康をサポートする学生相談室及び保健室とも必要に応じて連携し、快適な学生生活の実現にも配慮します。

### グローバルラーニングセンター

グローバルラーニングセンターは、英語をコミュニケーションツールとして駆使できるグローバル人材の育成に重点を置く新しい組織として令和2年4月に開設されました。

コミュニケーションツールとしての英語を身につけるための学習支援、SIPSによる留学促進活動とトビタテ！留学JAPANを中心とした留学の支援、個別の留学相談、グローバルセンスを磨く教育セミナーや研究ウェビナーの開催、国際共同研究プロジェクトに向けた活動の支援、海外大学との学術交流協定の管理等を通して、大学のグローバル化を総合的に推進します。

## 学術研究推進センター

本学における教員の研究活動を全学的に推進する機関として、平成 27 年 10 月に設置されました。

平成 26 年に改正された研究活動における不正行為や研究費の不正使用に関する文部科学省のガイドラインに基づき、教職員等の研究者倫理及びコンプライアンス意識の向上を図り、教員の研究が適正かつ効果的に行われ、社会の信頼に応え得るものとなるよう支援しています。

## 総合情報推進センター

情報化が社会のあらゆる分野において広がっていることを受けて、学内ネットワーク等の学内情報基盤の整備・運用を行っています。

また、学生の情報活用能力の向上を図り、研究・課題に取り組む環境を提供するため、ネットワークに接続した PC を自由に利用できるよう整備提供する等、学生教育と教員の教育研究活動を支援する体制を整えています。さらに、学内ネットワークのセキュリティにも即応体制をとっています。

## 広報メディア開発センター

広報計画の企画立案、ホームページや SNS、オリジナルグッズの制作、その他広報物の編集・デザイン等、様々な広報メディアの開発、活用を推進し、本学の魅力を広く発信することを目的として活動しています。

広報したいターゲットや多様な利用者に正確で詳細な情報をツール毎の特性に合わせた「表現」「時期」「頻度」で発信するために、戦略的な広報活動に取り組みます。

# ○副専攻「吉備の杜」

## 岡山創生学課程 [1 ～ 3 年次] 平成 28 年 4 月から

文部科学省「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に選定された「地域で学び地域で未来を拓く『生き活きおかやま』人材育成事業」の一環で、平成 28 年 4 月に開講された副専攻です。社会に対する視野を広げ、柔軟な発想力や応用力を養うことを目的とし、地域理解から始まり、地域課題を認識し、協働を通じて解決プロセスを考えます。フィールドワークを通じた実践的な学習が特徴で、認定要件を満たした学部生には、「地域創生推進士」の称号を授与します。

## 吉備の杜クリエイター課程 [3 ～ 4 年次] 令和 3 年 4 月から

文部科学省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（COC+R）」に選定された「吉備の杜」創造戦略プロジェクトのうち学部教育に該当し、各学部の特徴を生かした講義・演習科目と、企業の現場で社員等と協働して学修する「未来型プロジェクト」から成る新たな副専攻です。高い専門性と幅広い人間力を備え、持続可能な地域の未来が展望できる「雑草型人材」の育成を目指します。認定要件を満たした学部生には、「地域創生クリエイター」の称号を授与します。

## 吉備の杜プロデューサー課程 [博士前期・修士課程] 令和 3 年 4 月から

文部科学省「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（COC+R）」に選定された「吉備の杜」創造戦略プロジェクトのうち大学院教育に該当し、研究科を問わず受講できる研究科横断型科目「大学院クロスセクション」と、企業に赴き主体的に課題解決に取り組む「創造戦略プロジェクト」から成る新たな副専攻です。高い専門性と幅広い人間力を備え、多種多様な環境に対応でき、企業現場で即戦力となる「雑草型リーダー」の育成を目指します。認定要件を満たした大学院生には、「創造戦略プロデューサー」の称号を授与します。

## ○外部研究資金獲得状況

### 科学研究費助成事業

我が国の学術を振興するため、独創的・先駆的な研究を格段に発展させることを目的として、文部科学省と独立行政法人日本学術振興会が分担して交付している競争的資金です。

#### 【令和3年度応募・採択状況】

令和3年5月1日現在

研究種目	応募件数	新規採択件数	継続件数	配分額(千円)	うち新規分(千円)
新学術領域研究	0	0	1	4,500	0
特定領域研究	0	0	0	0	0
特別推進研究	0	0	0	0	0
基盤研究(S)	0	0	0	0	0
基盤研究(A)	0	0	0	0	0
基盤研究(B)	5	0	4	10,400	0
基盤研究(C)	48	13	31	37,500	13,400
挑戦的研究(萌芽)※2	5	—	0	0	0
若手研究(B)	0	0	0	0	0
若手研究	5	3	11	12,700	3,200
研究活動スタート支援※1	—	—	1	1,100	0
研究成果公開促進費	0	0	0	0	0
特別研究員奨励金	1	1	0	800	800
学術変革領域研究(B)※2	0	0	0	0	0
合計	64	17	48	67,000	17,400

※ 配分額には間接経費及び4/1に転出した教員の新規採択分は含まない。

※1 応募中の研究活動スタート支援は除く。(8月内定発表)

※2 学術変革領域研究(B)は11月下旬、挑戦的研究(萌芽)は7月上旬内定発表予定

#### 【採択件数・配分額の推移】

令和3年5月1日現在  
上段:件数(件) 下段:配分額(千円)

研究種目	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新学術領域研究	0	0	0	1	1
特定領域研究	0	0	0	3,800	4,500
特別推進研究	0	0	0	0	0
基盤研究(S)	0	0	0	0	0
基盤研究(A)	0	0	1	0	0
基盤研究(B)	3	4	3	4	4
基盤研究(C)	36	49	47	48	44
挑戦的研究(萌芽)	4	3	1	0	—
若手研究(B)	11	4	2	0	0
若手研究	1	4	8	12	14
研究活動スタート支援	0	0	0	0	1
研究成果公開促進費	0	0	0	1	0
特別研究員奨励金	0	0	0	0	1
学術変革領域研究(B)	0	0	0	0	0
合計	55	64	62	66	65
	60,116	69,750	60,100	68,000	67,000

## 共同研究・受託研究・教育研究奨励寄附金

産学官連携による地域貢献を推進するため、民間等の外部資金を導入して実施する研究です。

【件数・金額の推移】

上段：件数（件） 下段：獲得額（千円）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
共同研究	48 21,000	46 24,366	43 17,872	50 24,301	45 15,345
受託研究	18 45,926	24 38,781	20 48,678	16 40,049	11 32,271
教育研究奨励寄附金等	49 21,716	52 29,632	48 22,639	44 18,270	34 22,388

※ 獲得額には間接経費を含む。

## ○教育の質向上に向けた大学教育改革の取組

大学改革推進等補助金とは、教育改革の取組を促進するため、国公立大学を対象として教育の質向上に向けた大学教育改革の取組に対して、財政的なサポートや幅広い情報提供を行う文部科学省の補助金です。本学の取組実績は次のとおりです。

事業期間	取組内容
平成 18 ～ 20 年度	現代的教育ニーズ取組支援プログラム（現代 G P） 「実践的チームガバナビリティー育成教育」 （実施主体）本学保健福祉学部
平成 21 ～ 23 年度	大学教育充実のための戦略的産学連携支援プログラム 『『岡山オルガノン』の構築』 （実施主体）岡山理科大学（代表校）外 ※本学は全学組織で対応
平成 22 ～ 23 年度	大学生の就業力育成支援事業（平成 23 年度をもって事業廃止） 『『デザイナーの卵』孵化推進教育プログラム』 （実施主体）本学デザイン学部
平成 24 ～ 26 年度	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業 ※平成 26 年度は【テーマ A】教育改善・充実体制整備 「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」 （実施主体）島根大学（代表校）外 ※本学はデザイン学部が対応
平成 26 ～ 27 年度	産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業 【テーマ B】インターンシップ等の取組拡大 ※平成 27 年度は大学教育再生加速プログラム（インターンシップ等を通じた教育強化） 「中国・四国圏域での産学協働によるインターンシップ等の推進」 （実施主体）島根大学（代表校）外 ※本学はデザイン学部が対応
平成 27 ～ 令和元年度	地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+） 「地域で学び地域で未来を拓く‘生き生きおかやま’人材育成事業」 （実施主体）本学（代表校）外 29 機関（県内の大学・自治体・団体・企業等） （取組内容） おかやまの創生に向けて、産学官民が一体となってオール岡山で進める人材育成の取組。
令和 2 ～ 6 年度	「大学による地方創生人材教育プログラム構築事業（COC+R）」 「吉備の杜」創造戦略プロジェクトー雑草型人材育成を目指してー （実施主体）本学（代表校）外 17 機関（県内の大学・自治体・団体等） （取組内容）地域の求める産業人材を大学・地域・企業の合体教育により養成する取組。

## ○地域貢献

### 公開講座

地域に開かれた大学を目指し、地域貢献活動の一環として地域住民の生涯教育の場とするために公開講座を開催しています。

#### 【開催状況】

年度	講座数	応募者数	修了者数	講座内容	
平成 28	8	34	21	担当学部 テーマ	情報工学部 「地域を活かす情報技術」
平成 29	2	57	36	担当学部 テーマ	保健福祉学部 「知って得する糖尿病との付き合い方」
平成 30	2	48	34	担当学部 テーマ	デザイン学部 「美と芸術について考える」
令和元	4	43	23	担当学部 テーマ	共通教育部 「テキストの中の〈世界〉」
令和 2	4	84	58	担当学部 テーマ	情報工学部 「私たちの生活を変える AI」

※ 2/3 以上の出席の者を修了者とする。

### 全学講義

広く全学生の教養を高めるとともに、地域文化の向上に寄与することを目的として、学生だけでなく地域住民や教員を対象に全学講義を開催しています。

#### 【開催状況】

年度	参加者数	講座内容	
平成 28	450	講師 演題	公益社団法人経済同友会 教育改革委員会 委員長 天羽 稔 氏 学生時代になすべきこと ～これからの企業・社会が求める人材像～
平成 29	450	講師 演題	骨董通り法律事務所 代表パートナー 福井 健策 氏 90分で学ぶ、情報発信に必須の著作権講座
平成 30	420	講師 演題	民俗学者・旅の文化研究所 所長 神崎 宣武 氏 語り継ごう地域の文化力ー高梁川流域の古今東西ー
令和元	420	講師 演題	兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 教授 青田 良介 氏 阪神・淡路大震災からの教訓と市民力
令和 2		令和 2 年度開催せず	

### 高大連携事業

平成 14 年 10 月に県教育委員会と連携教育の実施に係る協定を締結しました。この協定に基づき、県立高等学校生徒に対して大学レベルの教育を履修する機会を提供し、学習意欲や進路意識の高揚を図るとともに個性の一層の伸長に資するため、高等学校における科目の履修とみなし単位を与えることができる連携講座の開催や大学教員の高等学校への講師派遣（出前講義）を実施しています。

#### 【公開授業・出前講義実績】

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
高校数（延・校）	8	12	10	12	7
受講人数（人）	259	803	223	933	543
うち連携講座	15	34	15	45	11
うち出前講義	244	769	208	888	532



## 行政等との協働

### 連携協力に関する包括協定

協定機関	協定締結日
総社市	平成20年 2月20日
中国銀行・トマト銀行・おかやま信用金庫	平成20年 7月24日
特定非営利活動法人アムダ (AMDA)	平成22年 7月 6日
両備グループ	平成24年 2月 3日
山陽新聞社	平成24年 3月23日
特定非営利活動法人アムダ (AMDA)・総社市	平成25年 9月10日 (三者協定)
備前市	平成26年 7月29日
笠岡市	平成26年 7月29日
真庭市	平成26年 7月29日
学校法人アジアの風 岡山外語学院	平成28年 7月20日
片山工業 (株)・総社市	平成28年 8月22日 (三者協定)
赤磐市	平成30年 3月 1日
岡山市	平成30年 3月28日
備前市・(株) サンヨーホームズ	平成30年 3月29日 (三者協定)
学校法人加計学園岡山理科大学	平成30年11月27日
就実大学・就実短期大学	平成31年 3月18日

### 総社市との包括協定

#### 【令和2年度連携事業】

- ① インターンシップの実施
- ② 総社市と連携・協働した各種研究活動
- ③ 総社市・県立大学連携協力推進会議

### 各種委員の応嘱 (令和2年度)

区分	国・独法	県	市町村	協議会・団体等	計
保健福祉学部	1	42	34	61	138
情報工学部	7	8	4	41	60
デザイン学部	0	14	27	10	51
総計	8	64	65	112	249

### 講師派遣 (令和2年度)

区分	国・独法	県	市町村	協議会・団体等	教育機関	計
保健福祉学部	1	13	12	40	11	77
情報工学部	0	0	0	4	3	7
デザイン学部	0	0	2	1	0	3
総計	1	13	14	45	14	87

### 非常勤医師・非常勤講師及び役員の派遣 (令和2年度)

区分	非常勤医師	非常勤講師	役員	計
保健福祉学部	5	43	0	48
情報工学部	0	16	1	17
デザイン学部	0	11	0	11
総計	5	70	1	76

## その他の地域への情報提供

### 【吉備創生カレッジ】

県内四年制大学により組織された「大学コンソーシアム岡山」の事業である社会人教育事業「シティカレッジ」と、山陽新聞社が県内大学の協力を得て開講した生涯学習講座「山陽新聞カレッジ」が統合して、「吉備創生カレッジ」を共同実施しています。

令和2年度は本学から2講座を提供しました。

## ○国際交流

国際交流は、学術・文化の国際的交流に伴う相互利益を増進することを目的としており、本学の「国際交流」は、「留学生の受入れ」、「短期留学生の派遣」、「学術交流＝教員の派遣」等で構成されています。

交流協定	大 学 名	国名・地域名	協定締結日
	バンガー大学	英 国	平成 8 年 3 月 6 日
	セント・アンドリュース大学	英 国	平成 8 年 3 月 7 日
	ウソン（又松）大学校	韓 国	平成 17 年 1 月 11 日
	四川大学	中 国	平成 19 年 5 月 8 日
	南昌大学	中 国	平成 19 年 7 月 17 日
	ウソン（又松）大学校	韓 国	平成 20 年 4 月 28 日
	四川大学	中 国	（トライアングル協定）
	延辺大学	中 国	平成 20 年 9 月 1 日
	ウソン（又松）大学校	韓 国	平成 24 年 10 月 3 日
	東北師範大学	中 国	（トライアングル協定）
	ハサヌディン大学	インドネシア	平成 26 年 4 月 27 日
	アデレード大学	オーストラリア	平成 26 年 9 月 2 日
	トリブバン大学	ネパール	平成 27 年 4 月 16 日
	国立雲林科技大学	台 湾	平成 27 年 11 月 11 日
	モンテレイ工科大学プエブラ校	メキシコ	平成 27 年 12 月 9 日
	モンテレイ大学	メキシコ	平成 27 年 12 月 11 日
	河南科技大学	中 国	平成 28 年 8 月 25 日
	ポートランド州立大学	アメリカ	平成 28 年 8 月 31 日
	東南大学	中 国	平成 29 年 2 月 6 日
	カセサート大学	タ イ	平成 30 年 1 月 30 日
	ラハティ応用科学大学	フィンランド	平成 30 年 10 月 4 日
	ダンヌンツィオ大学	イタリア	令和元年 6 月 17 日
	国立台南芸術大学	台 湾	令和 2 年 12 月 23 日

### 留 学 生

	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度
中 国	3	6	6	9	6	2
韓 国	2	2	1	2	3	3
そ の 他	1	1	2	3	4	3
計	6	9	9	14	13	8

学生海外研修 参加者数

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
(本学から派遣)	語学文化研修	英国 (バンガー大学)	11	5	0	5	5	0	
		韓国 (ウソン大学校)	0	0	0	0	0	0	
		中国 (四川大学)	0	0	0	0	0	0	
		豪州 (アデレード大学)	12	15	9	0	0	0	
		韓国 (梨花女子大学)	7	2	3	2	0	0	
	スタディツアー	香港スタディツアー ※1	0	4	4	6	0	0	
		台湾スタディツアー ※1		3	5				
		米国スタディツアー			17	1	7	0	
	海外研修(保健福祉学)	香港		3	8	8	0	0	
		韓国 ※2		15	9	22	15	0	
		豪州	7	14	12	0	9	0	
	(保健福祉学研究) 海外研修	タイ	0	0	0	0	0	0	
		イタリア	0	0	0	0	0	0	
	(海外から受入)	日本語・日本文化研修	韓国 (ウソン大学校)	0	0	0	0	0	0
			韓国 (ナメ大学)	0	0	0	0	0	0
中国 (南昌大学)			11	0	0	0	0	0	
台湾 (雲林科技大学)				7	9	8	0	0	
台湾 (淡江大学)				5	5	0	0	0	
中国 (河南科技大学)				1	1	3	13	0	

※1 平成30年度は香港・台湾スタディツアーとして実施

※2 2つのプログラムの合計

## ○定期刊行物

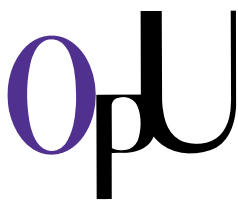
- 教育年報
- 社会貢献年報
- 大学案内
- 大学概要

## ○シンボルマーク



平成19年4月の公立大学法人化を機に、ロゴマークを一新することが決定され、デザイン学部 鈴木富士夫教授を中心とするプロジェクトチームにより考案されました。

開学からのシンボルカラーであるパープルを用いて、イニシャルの“O”をモチーフに2つの螺旋の組合せで構成されており、地域と大学との一体感や活動的で開かれたイメージを表現しています。また、勾玉を連想させる形に古代吉備の里という歴史ある地域を想起させます。



岡山県立大学の開学にあたり、初代デザイン学部長である出口良生教授を中心としたグループ（県立大学建設準備会第6分科会）により考案された開学当初の校章デザインです。

平成5年3月、岡山県に承認され、平成19年4月の法人化まで公式ロゴマークとして使用されました。

岡山県立大学のイニシャル（OPU）全体がリズムカルに次第に大きくなっており、力強い発展や、未来を拓くことを表現しています。

## ○予算・決算状況

### 令和2年度決算

#### 貸借対照表

科目	金額
<b>■資産の部</b>	
I. 固定資産	
1. 有形固定資産	9,020,750
2. 無形固定資産	8,831
3. 投資その他の資産	100,000
固定資産合計	9,129,581
II. 流動資産	
現金及び預金	1,041,014
未収学生納付金収入	3,478
未収入金	77,468
たな卸資産	6,226
前払費用	19,498
未収収益等	1
流動資産合計	1,147,685
<b>資産合計</b>	<b>10,277,266</b>

(単位：千円)

科目	金額
<b>■負債の部</b>	
I. 固定負債	1,816,977
II. 流動負債	550,295
負債合計	2,367,272
<b>■純資産の部</b>	
I. 資本金	12,091,633
II. 資本剰余金	△ 4,891,441
III. 利益剰余金	709,802
資本合計	7,909,994
<b>負債及び純資産合計</b>	<b>10,277,266</b>

#### 損益計算書

科目	金額
経常費用	3,527,727
業務費	3,165,701
一般管理費	362,005
財務費用	21
経常収益	3,587,242
運営費交付金収益	2,087,476
授業料等収益	1,105,133
受託研究等収益	64,501
補助金等収益	129,932
寄附金収益	24,942
施設費収益	49,878
資産見返負債戻入	77,688
財務収益	43
雑益	47,649
経常利益	59,515
臨時利益	△ 3,363
当期純利益	56,152
目的積立金取崩額	0
当期総利益	56,152

(単位：千円)

### 令和3年度予算

#### 収入

科目	金額
運営費交付金	2,112,999
補助金	200,473
授業料等収入	1,004,998
研究費等収入	109,108
その他収入	44,297
目的積立金取崩収入	64,722
<b>収入計</b>	<b>3,536,597</b>

(単位：千円)

#### 支出

科目	金額
教育経費	619,259
研究経費	172,349
教育研究支援経費	38,146
受託研究等経費	109,108
人件費	2,199,772
一般管理費等	397,963
<b>支出計</b>	<b>3,536,597</b>

(単位：千円)

## ○主な大学施設等

所在地

〒719-1197 岡山県総社市窪木111

土地

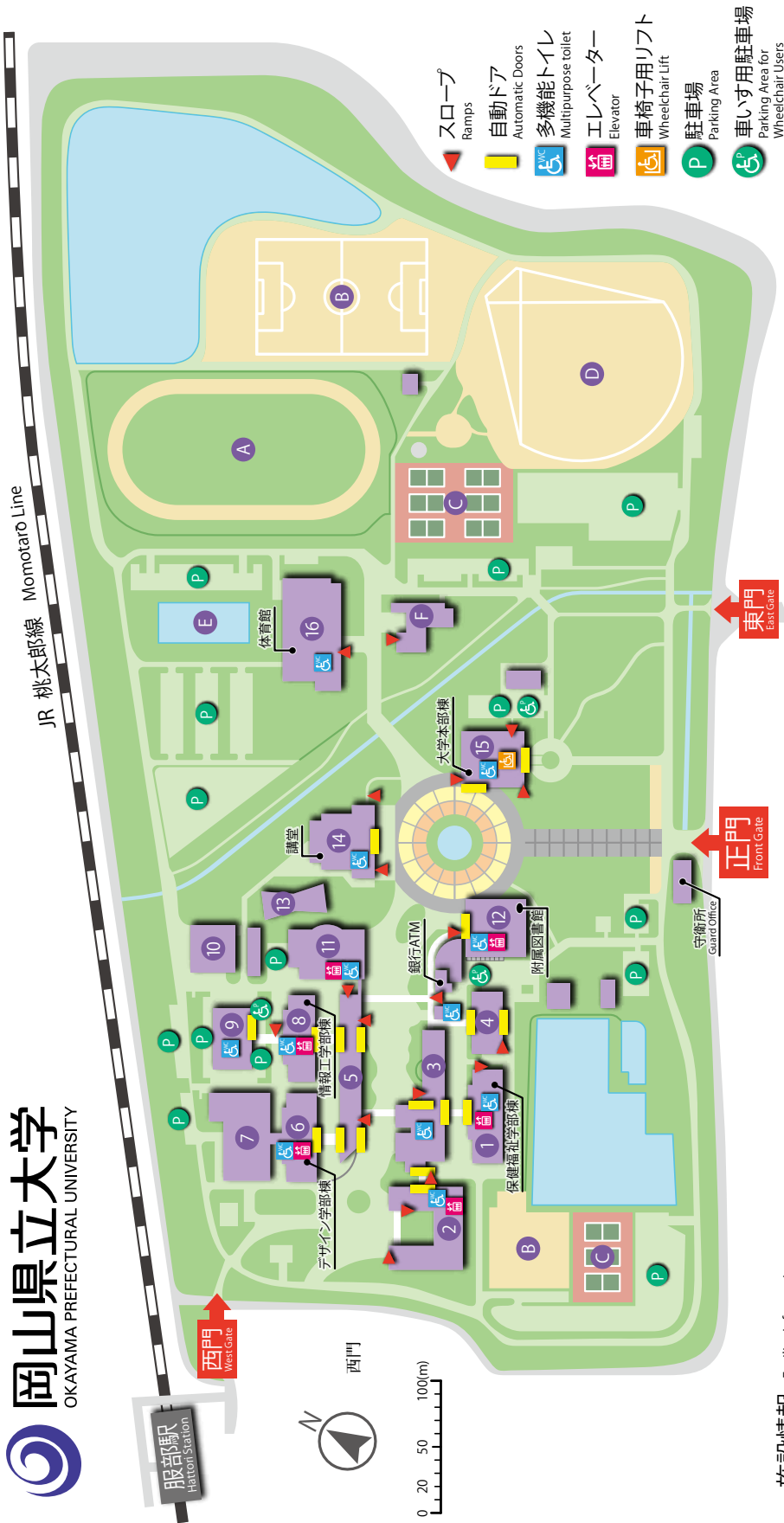
校舎・講堂・体育施設敷地 129,190 m<sup>2</sup>  
 屋外運動場敷地 85,929 m<sup>2</sup>  
 その他（緑地・調整池等） 87,090 m<sup>2</sup>

主な建物・施設

※ RC = 鉄筋コンクリート造 SRC = 鉄骨鉄筋コンクリート造 S = 鉄骨造 W = 木造

区分	構造	延床面積 (m <sup>2</sup> )	施設の主な内容
講堂	RC-4F	2,392.36	・650席 ・練習室, 控室, 映写室等
本部棟	RC-2F	2,233.16	・学長室, 局長室, 事務局, 保健室, 会議室, 学生相談室等
保健福祉学部棟	SRC-6F	7,220.93	・講義室, 演習室, 実習室, 実験室, 研究室等
情報工学部棟	SRC-6F	7,181.67	・コンピュータ室, 工作室, 演習室, 実験室, 研究室等
情報工学部教育研究棟	S-1F	847.43	・演習室, 研究室等
デザイン学部棟	SRC-6F	6,811.64	・講義室, ゼミ室, 実習室, スタジオ, 製図室, 印刷室, デッサン室, 研究室, 展示ホール等
アトリエ棟	RC-2F	2,750.27	・工房, 実習室, 実験室等
学部共通棟 (北)	RC-2F	2,345.84	・講義室, 就職相談室等
学部共通棟 (南)	RC-2F	3,538.05	・大講義室, 講義室, 演習室, 実習室, CALL教室, AV室, スタジオ, 事務局 (学部事務班) 等
学部共通棟 (東)	S-1F	693.55	・講義室
学部共通棟 (西)	RC-2F	3,814.45	・講義室, 演習室, 実習室, 視聴覚教室, ピアノ練習室, リズムダンス練習室, 研究室, 総合情報推進センター等
附属図書館	RC-2F	2,607.72	・蔵書22万冊収納可・開架閲覧室, 個人閲覧室, 集密書架等
学生会館	RC-3F	2,991.79	・食堂, 喫茶, コンビニ, ラウンジ, 茶室, 学生支援室 (SAS) 等
陸上競技場	—	20,600	・400mトラック
グラウンド	—	17,918	・2面
野球場	—	18,302	・1面
テニスコート	—	6,638	・ハードコート6面, 砂入人工芝コート3面
体育館	RC-2F	3,032.88	・アリーナ, トレーニング室, 格技場, ロッカー室等
プール	RC-1F	237.06	・プール本体 : SUS (1,861.50m <sup>2</sup> ) ・50m×8コース
部室棟	RC-2F	767.11	・部室等
エネルギーセンター	RC-2F	1,037.53	
動物実験棟	RC-1F	137.93	
グローバルラーニングセンター	W-2F	236.32	・グローバルラーニングセンター, 同窓会事務局

# ○建物配置図



- ▲ スロープ Ramps
- 自動ドア Automatic Doors
- ♿ 多機能トイレ Multipurpose toilet
- ⬆ エレベーター Elevator
- ♿ 車椅子用リフト WheelChair Lift
- P 駐車場 Parking Area
- ♿ 車いす用駐車場 Parking Area for WheelChair Users

## 施設情報 Facility Information

- |  |  |   |                               |
|--|--|---|-------------------------------|
| 1 保健福祉学部棟<br>Faculty of Health and Welfare Science | 6 デザイン学部棟<br>Faculty of Design                                 | 12 附属図書館<br>University Library              | A 陸上競技場<br>Athletic Field     |
| 2 学部共通棟(西)<br>講義室 邦職実習室 ピアノ練習室 リズムダンス練習室等          | 7 アトリエ棟<br>Arts and Craft Studios                              | 13 グローバルラーニングセンター<br>Global Learning Center | B グラウンド<br>Sports Ground      |
| 3 学部共通棟(南)<br>大講義室 語学教育推進室 AV室 スタジオ 学部事務班等         | 8 情報工学部棟<br>Faculty of Computer Science and System Engineering | 14 講堂<br>Auditorium                         | C テニスコート<br>Tennis Court      |
| 4 学部共通棟(東)<br>Common Lecture Building [East]       | 9 情報工学部 教育・研究棟<br>Education and Research Building              | 15 大学本部棟<br>学長室 事務局 保健室等                    | D 野球場<br>Baseball Ground      |
| 5 学部共通棟(北)<br>Common Lecture Building [North]      | 10 エネルギーセンター<br>Utilities Control Center                       | 16 体育館<br>Gymnasium                         | E プール<br>Swimming Pool        |
|  | 11 学生会館<br>食堂 喫茶 コンビニ 学生支援室(SAS) 茶室等                           |   | F 部室棟<br>Student's Club House |

